

## 平成30年度

平成30年1月30日現在

---

# 生涯学習・文化財行政の事業体系(案)

---

### 生涯学習・文化財行政の体系

- 1 生涯学習の推進
- 2 家庭教育の支援
- 3 青少年の学習活動の支援
- 4 成人・高齢者の学習活動の支援
- 5 社会教育の充実
- 6 文化財の保護
- 7 社会教育施設等の環境整備

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

いわて県民計画 V教育・文化

～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

岩手の教育振興 「みんなではぐくむ学びの場いわて」

<具体的な施策の内容>

教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

広がりや深まりのある生涯学習の振興

郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

<具体的な推進方策>

学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

多様な体験活動の充実

地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

多様な学習活動を支援する環境の整備充実

生涯にわたる学習機会の充実

世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

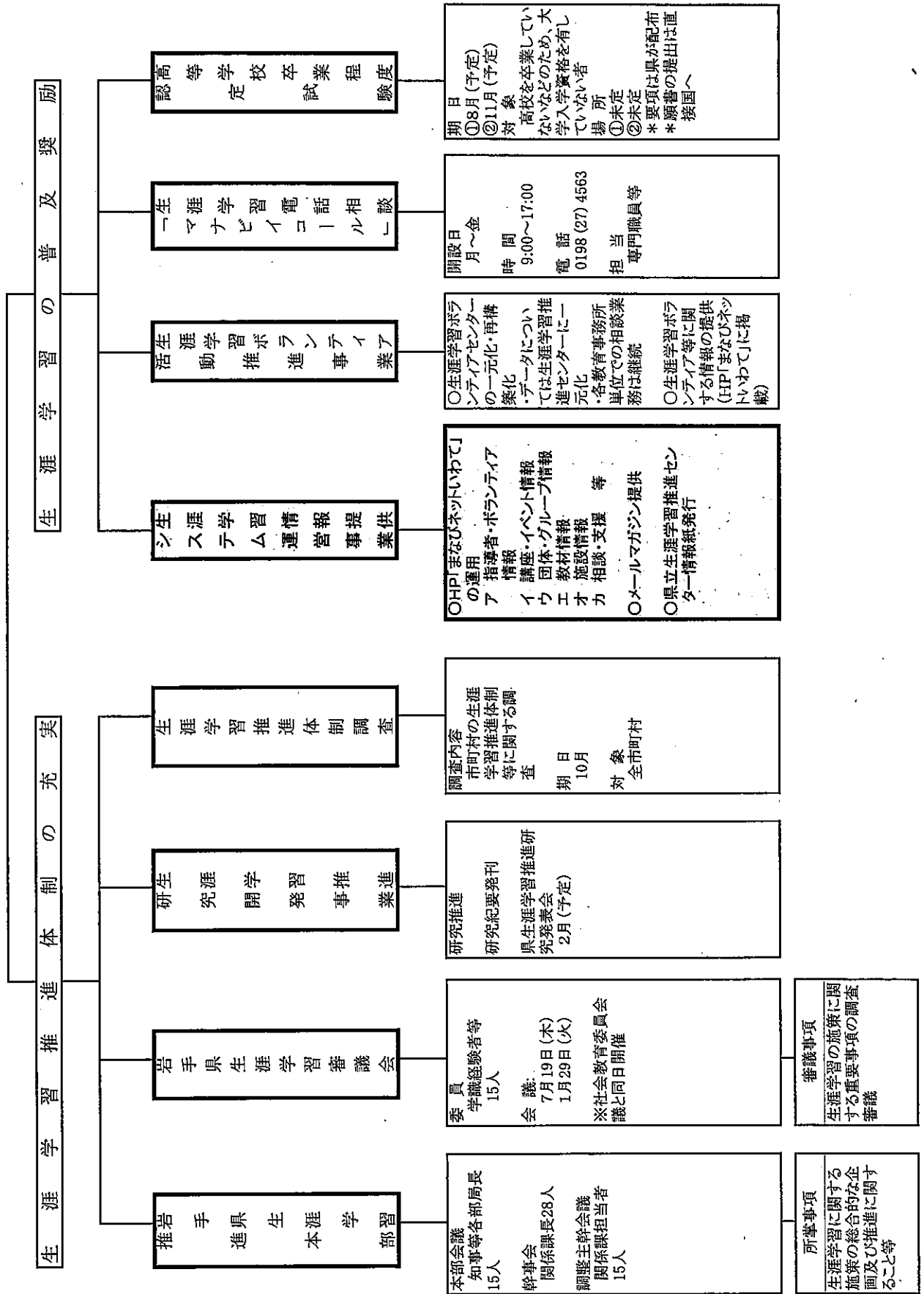
文化財の保存と継承

- 教育振興運動の充実（全県共通課題への取組含む）
- 家庭教育支援の充実
- 子どもの読書活動の推進
- 放課後子ども総合プランの推進
- 学校と地域の連携・協働の推進
- 社会教育施設等を活用した多様な学習活動の充実

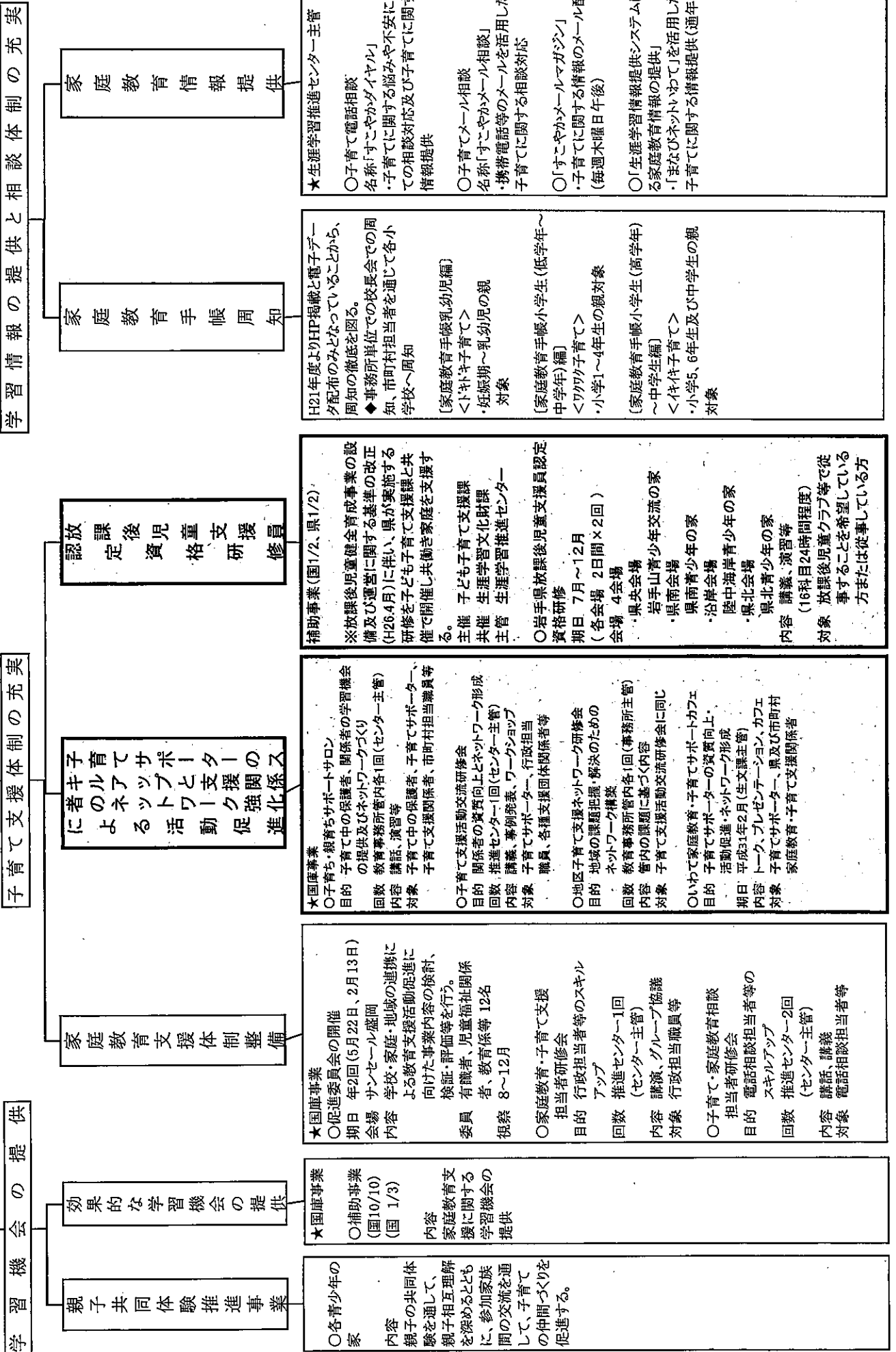
- 学習情報提供・相談体制の充実
- 指導者の養成と関連団体の育成支援
- 調査研究・普及奨励及び学習成果を生かすための環境整備
- 学習の出発点としての家庭教育の支援
- 地域社会の教育力の充実・向上
- 専門的・体系的・総合的な学習機会の提供

- 縄文遺跡群の世界遺産登録の推進
- 平泉文化研究
- 柳之御所遺跡保存整備
- 文化財指定の推進
- 文化財の保存と公開
- 開発事業と埋蔵文化財保護の円滑な調整
- 遺物譲与の促進と積極的な活用

# 1 生涯学習の推進



# 2 家庭教育の支援



学習機会の提供

親子共同体験推進事業

★国庫事業  
○各青少年の家  
内容 親子の共同体験を通して、親子相互理解を深めるとともに、参加家族間の交流を通して、子育ての仲間づくりを促進する。

効果的な学習機会の提供

★国庫事業  
○補助事業(国10/10)(国1/3)  
内容 家庭教育支援に関する学習機会の提供

家庭教育支援体制整備

★国庫事業  
○促進委員会の開催  
期日 年2回(5月22日、2月13日)  
会場 サンセール盛岡  
内容 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進に向けた事業内容の検討、検証・評価等を行う。  
委員 有識者、児童福祉関係者、教育関係等 12名  
視察 8～12月  
○家庭教育・子育て支援担当者研修会  
目的 行政担当者等のスキルアップ  
回数 推進センター1回(センター主管)  
内容 講演、グループ協議  
対象 行政担当職員等  
○子育て・家庭教育相談担当者研修会  
目的 電話相談担当者等のスキルアップ  
回数 推進センター2回(センター主管)  
内容 講話、協議  
対象 電話相談担当者等

子育てサポートによるネットワーク強化関係

★国庫事業  
○子育て・親育ちサポートサロンの提供  
目的 子育て中の保護者、関係者の学習機会の提供及びネットワークづくり  
回数 教育事務所管内各1回(センター主管)  
内容 講話、演習等  
対象 子育て中の保護者、子育てサポート、子育て支援関係者、市町村担当職員等  
○子育て支援活動交流研修会  
目的 関係者の資力向上とネットワーク形成  
回数 推進センター1回(センター主管)  
内容 講話、事例発表、ワークショップ  
対象 子育てサポート、行政担当職員、各種支援団体関係者等  
○地区子育て支援ネットワーク研修会  
目的 地域の課題把握・解決のためのネットワーク構築  
回数 教育事務所管内各1回(事務所主管)  
内容 管内の課題に基づく内容  
対象 子育て支援活動交流研修会に同じ  
○いわて家庭教育・子育てサポートカフェ  
目的 子育てサポートの資力向上、活動促進・ネットワーク形成  
期日 平成31年2月(生文課主管)  
内容 トーク、プレゼンテーション、カフェ  
対象 子育てサポート、県及び市町村家庭教育・子育て支援関係者

認定後援児童資格研修

補助事業(国1/2、県1/2)  
※放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正(126.4月)に伴い、県が実施する研修を子ども子育て支援課と共同で開催し共働き家庭を支援する。  
主催 子ども子育て支援課  
共催 生涯学習文化財課  
主管 生涯学習推進センター  
○岩手県放課後児童支援員認定資格研修  
期日 7月～12月  
(各会場 2日間×2回)  
会場 4会場  
・県中央会場  
・岩手山青少年交流の家  
・県南会場  
・県南青少年の家  
・沿岸会場  
・陸中海岸青少年の家  
・県北会場  
・県北青少年の家  
内容 講話、演習等  
(16科目24時間程度)  
対象 放課後児童クラブ等で従事することを希望している方  
方またはは従事している方

家庭教育手帳周知

H21年度よりHP掲載と電子データ配布のみとなっていることから、周知の徹底を図る。  
◆事務所単位での校長会での周知、市町村担当者を通じて各小中学校へ周知  
[家庭教育手帳乳幼児編]  
＜トキキ子育て＞  
・妊娠期～乳幼児の親対象  
[家庭教育手帳小学生(低学年～中学年)編]  
＜ワカ子育て＞  
・小学1～4年生の親対象  
[家庭教育手帳小学生(高学年)～中学生編]  
＜イキ子育て＞  
・小学5、6年生及び中学生の親対象

家庭教育情報提供

★生涯学習推進センター主管  
○子育て電話相談  
名称「すこやかダイヤル」  
・子育てに関する悩みや不安についての相談対応及び子育てに関する情報提供  
○子育てメール相談  
名称「すこやかメール相談」  
・携帯電話等のメールを活用した、子育てに関する相談対応  
○「すこやかメールマガジン」  
・子育てに関する情報のメール配信(毎週木曜日午後)  
○「生涯学習情報提供システム」による家庭教育情報の提供  
・「まなびネットいわて」を活用した、子育てに関する情報提供(通年)

子育て支援体制の充実

学習情報の提供と相談体制の充実

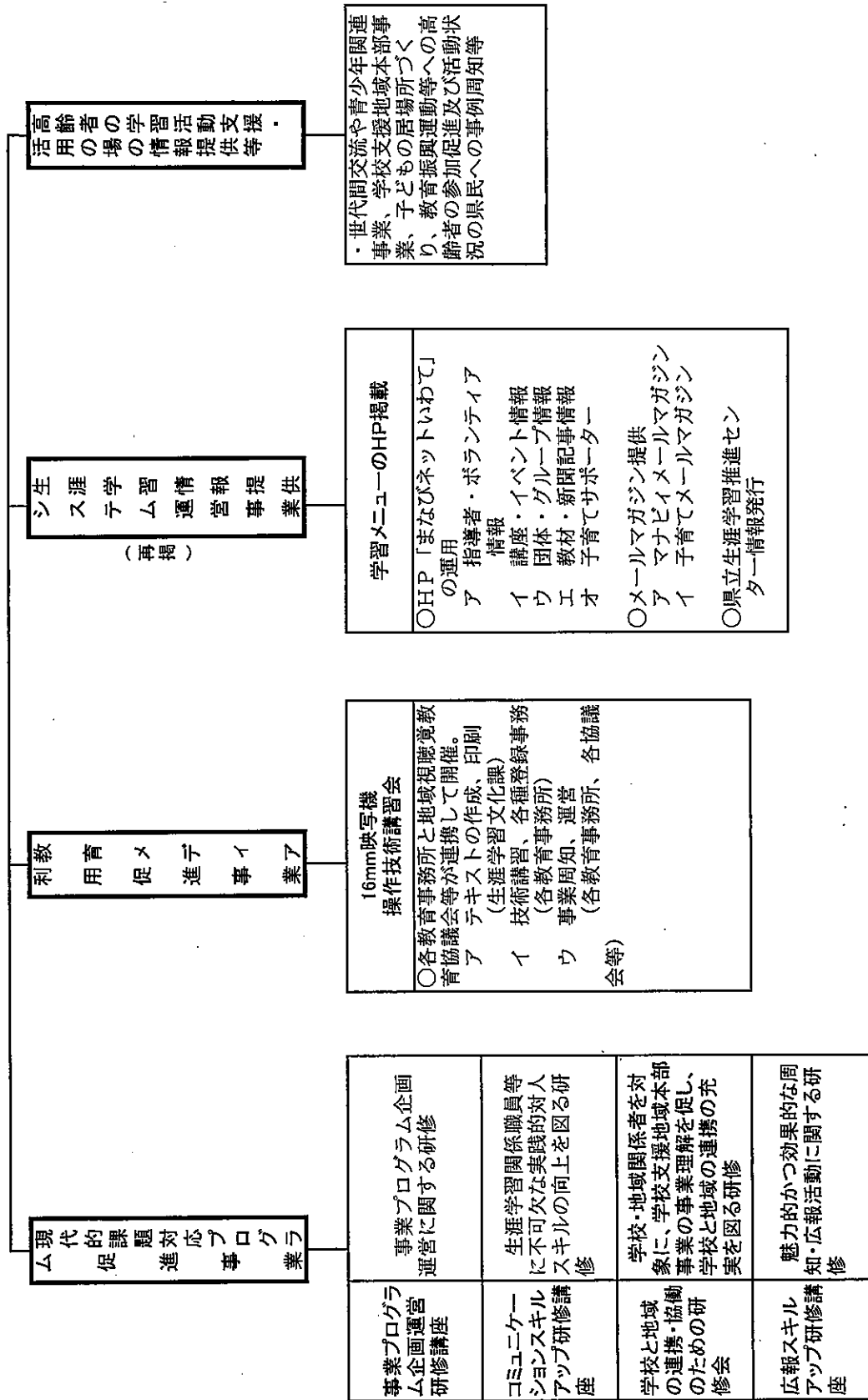
### 3 青少年の学習活動の支援(1)

<p><b>子どもの読書活動推進事業</b></p> <p>子どもの読書活動推進研修会</p> <p>★国庫委託事業 ○読書ボランティア研修会 ・各教育事務所 ・中高生の読書活動の推進等を中心 に</p> <p>○読書ボランティアネットワーク構築 事業 読書ボランティア研修会 (生涯学習推進センター・主管) ・生涯学習推進センター会場 ・沿岸地区会場</p>	<p><b>青少年の読書活動推進計画</b></p> <p>○岩手県子どもの読書活動推進計画 (第3次)の推進</p> <p>★国庫委託事業 ○『いわての中高生のためのおすすめ 図書100選』改訂版の普及・活用 ○『いわての小学生のためのおすすめ 図書100選』の活用</p> <p>読書活動推進体制整備</p> <p>○県における推進体制の整備 ・「岩手県子どもの読書活動推進委員 会」の開催(6月6日、1月23日) ○各地区における推進体制の整備 ・読書ボランティア活動との連携 ・研修会の企画、立案、共同実施等 ○子どもの読書状況調査の実施</p>	<p><b>教育振興運動充実事業</b></p> <p>推進幹事会議</p> <p>期日 年2回(7月11日、2月21日) 内容 推進方針、推進状況の評価 「5か年プラン」の概要等 幹事 教委13名+知事部局2名</p> <p>市町村担当者研修会</p> <p>期日 5月16日(水) 場所 生涯学習推進センター 対象 市町村担当者、指導主事等 内容 H29推進報告、H30方針確認 「5か年プラン」取組確認等</p>	<p><b>青少年の読書活動推進計画</b></p> <p>○岩手県子どもの読書活動推進計画 (第3次)の推進</p> <p>★国庫委託事業 ○『いわての中高生のためのおすすめ 図書100選』改訂版の普及・活用 ○『いわての小学生のためのおすすめ 図書100選』の活用</p> <p>読書活動推進体制整備</p> <p>○県における推進体制の整備 ・「岩手県子どもの読書活動推進委員 会」の開催(6月6日、1月23日) ○各地区における推進体制の整備 ・読書ボランティア活動との連携 ・研修会の企画、立案、共同実施等 ○子どもの読書状況調査の実施</p>	<p><b>教育振興運動充実事業</b></p> <p>公立小中義務教育学校の校体内体制における「地 域連携窓口教員」の位置づけ推進</p> <p>・「いわて型コミュニケーション・スクール」構 想」の趣旨を踏まえ、全小中義務教育学 校への位置づけ推進 ・位置づけ率調査の実施 ・教育振興運動推進研修会への参加奨励</p> <p>教員への周知・研修強化</p> <p>・各教育事務所等で実施する公立小中学校 の初任者研修(2年研)及び教職10年研修 において、学社連携・融合、教育振興運 動等の趣旨理解の時間を設定(指導主事 と社会教育主事が連携して実施)</p> <p>周知・啓発</p> <p>○メルマガの配信とHPへの掲載 ○教振に係るアンケートの実施 ○初任研(2年研)・10年研による 教員への啓発 ○地域の活性化・地域コミュニケーション の再生を促進する啓発活動 ○ホスター、イメーションングによ る運動の周知</p>	<p><b>青少年健全育成連携事業</b></p> <p>若者女性協働推進室 ・青少年育成県民会議連携 等</p> <p>○いわて希望塾 ・期日：11月28～25日 ・場所：陸中海岸青少年の家他 ・内容：知事講話 グループディスカッション 等</p> <p>○わたしの主張岩手県大会 ・期日：9月13日 ・場所：矢巾町 ・内容：中学生による意見発表</p> <p>○わたしの主張地区大会 ・期日：8月～9月 ・場所：各警察署管内 ・内容：中学生による意見発表</p> <p>○情報メディア対応促進事業 ・教振運動との連携 ・出前講座 ・講師派遣に係る情報提供 ・相談窓口紹介 ○立入調査 ・不健全図書立入調査 ・月1回実施</p> <p>子どもゆめ基金 子どもゆめ基金</p>	<p><b>青少年の家プログラム充実事業</b></p> <p>・特色ある自然体験プログラムの充実 ・地域人材のボランティア養成プログラ ムの充実 ・不登校児童生徒等対応プログラムの 充実</p>
<p>期日 5月～12月 場所 各教育事務所 対象 各市町村(担当課) 内容 県社主事が連携し、当該市 町村等が抱える課題の把握や実態に じた支援を行う。 『チーム社教』の活用</p>	<p>※地域学校連携推進プログラムとの合同 開催</p> <p>地域活性化推進事業</p>	<p>期日 5月～12月 場所 各教育事務所 対象 各市町村(担当課) 内容 県社主事が連携し、当該市 町村等が抱える課題の把握や実態に じた支援を行う。 『チーム社教』の活用</p>	<p>期日 5月～12月 場所 各教育事務所 対象 各市町村(担当課) 内容 県社主事が連携し、当該市 町村等が抱える課題の把握や実態に じた支援を行う。 『チーム社教』の活用</p>	<p>期日 5月～12月 場所 各教育事務所 対象 各市町村(担当課) 内容 県社主事が連携し、当該市 町村等が抱える課題の把握や実態に じた支援を行う。 『チーム社教』の活用</p>	<p>期日 5月～12月 場所 各教育事務所 対象 各市町村(担当課) 内容 県社主事が連携し、当該市 町村等が抱える課題の把握や実態に じた支援を行う。 『チーム社教』の活用</p>	<p>期日 5月～12月 場所 各教育事務所 対象 各市町村(担当課) 内容 県社主事が連携し、当該市 町村等が抱える課題の把握や実態に じた支援を行う。 『チーム社教』の活用</p>

### 3 青少年の学習活動の支援(2)

<p><b>学校と地域の協働推進事業</b></p> <p>県事業</p> <p>★国庫事業 ○促進委員会の開催 年2回(5月22日、2月13日) 内容 ・事業内容の検討 ・実施後の評価 ・検証等 委員 教育関係者、行政関係等 12名 視察 8~12月</p> <p>○学校支援コーディネーター等研修会の開催</p> <p>○学校と地域の協働のための研修会 場所 生涯学習推進センター 内容 講演、事例発表、情報交換等 対象 地域コーディネーター、地域連携窓口教員、市町村担当者等</p> <p>○事業の周知・事例紹介・HPへの事例掲載等</p>	<p><b>放課後子ども総合プラン推進事業</b> (放課後における子どもの居場所確保)</p> <p>県事業</p> <p>★国庫事業 ○促進委員会の開催 年2回(5月、2月) 内容 学校・家庭・地域の連携に係る教育支援活動の検討、事業内容の検証・評価等を行う 委員 教育関係者、保健福祉関係者 12名 視察 8月~12月</p> <p>○指導者等合同研修会の開催 年3回(7月、11月、12月) 場所 生涯学習推進センター 12月:(未定) 内容 講演、スキルアップ、分科会、事例発表、情報交換 対象 コーディネーター、安全管理者、学習アドバイザー、放課後児童支援員、各市町村担当者等</p>	<p><b>子ども子育て支援課共催事業</b> (再掲)</p> <p>補助事業(国1/2、県1/2) ○岩手県放課後児童支援員認定資格研修 主催 子ども子育て支援課 共催 生涯学習文化課 主管 生涯学習推進センター 期日 7月~12月 (各会場 2日間×2回) 会場 岩手山青少年交流の家 対象 県立の3青少年の家 放課後児童クラブ等で従事している方または従事を希望している方</p>	<p><b>中高生の学習支援等</b> (市町村・NPO団体等との連携事業)</p> <p>★国庫事業 ○地域人材を活用し、学校・社会教育施設・仮設住宅集会所等を会場に被災地における中高生の学習支援等を推進(沿岸6市町村) ※子どもたちの未来を創る「学びの部屋」実行委員会に委託</p>	<p><b>いわて地域学校連携促進事業</b></p> <p>・地区「地域とともにある学校づくり」連携フォーラムの開催 期日:各教育事務所と調整 場所:各教育事務所内 内容:行政説明、実践事例発表、パネルディスカッション等</p> <p>・教育委員会説明会 期日:各市町村教育委員会と調整 場所:各市町村庁舎内 内容:国および県施策の説明</p> <p>・地域学校連携・協働推進支援事業 期日:通年 場所:各市町村、学校、地区等 内容:指導主事・社教主事が連携し、各町村等が抱える課題解決のため、各町村等に対し、要請に応じてチームによる支援を実施する。</p> <p>・社会教育施設の有効活用 期日:通年 場所:各青少年教育施設等 内容:社会教育施設を活用した授業の取組事例を収集・紹介する。</p> <p>・地域学校連携・協働推進モデル指定研究事業 期日:通年 場所:各スクール(学校運営協議会制度)の導入等、地域学校の連携・協働の在り方等について調査研究を行うとともにその成果を普及啓発する。</p>
<p><b>市町村事業</b></p> <p>★国庫事業 19市町村55本部(H20年度計画数)</p> <p>①目的 地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、ボランティアによる多様な形態の教員支援をおこなうとともに、地域の教育力向上をめざす。</p> <p>②内容 ・市町村実行委員会の設置 ・地域教育協議会の設置 ・地域学校協働本部の設置 ・学校支援事業の企画立案 ・地域コーディネーターの配置 ・学校支援ボランティアの支援 ・人材バンクの作成等</p>	<p>★国庫事業 22市町村107教室(H25年度計画数)</p> <p>○運営委員会の開催 市町村における放課後児童対策の策定、ボランティアの確保、事業運営方法の検討 委員 行政、学校、放課後児童クラブ、社会教育、児童福祉関係者等 ○人的配置 ・コーディネーターの配置 ・安全管理員の配置 ・学習アドバイザーの配置 ○活動内容 ・遊びの場の設置 ・体験の場の設置 ・交流の場の設置 ・学びの場の確保 ・生活の場の確保</p> <p>※市町村単独事業として実施 北上市3教室</p>	<p>(注) ★・・・被災者支援総合交付金事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」構成事業として実施(国10/10)</p> <p>☆・・・国庫事業「学校・家庭・地域連携協力推進事業」構成事業として実施(国1/3、県1/3、市町村1/3)</p>	<p>い</p>	

# 4 成人・高齢者の学習活動の支援



# 5 社会教育の充実

## 指導体制の充実

<p>諸会議の開催</p> <p>県社会教育委員会 ・第1回 7/19 ・第2回 1/29</p> <p>県社会教育主事等会議 ・第1回 4/9～10 ・第2回 10/30～31 ・第3回 2/6</p> <p>市町村主管課長会議 ・各教育事務所 ・4～5月</p> <p>都府県社会教育主事等協議会 ・久慈市 ・7/23～27調整中</p>
---

人的体制の充実  
社会教育主事講習の受講促進  
社会教育主事の配置促進

(再掲)

「いわてマナビマガジン」の配信  
・教育振興運動など生涯学習・社会教育に関する最新トピックを月2回配信。

<p>社会教育主事講習 ・岩手大学 ・国社研A・B</p> <p>【生涯学習推進センター関係】 新任生涯学習関係職員研修講座 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座 センター長・公民館長・主幹課長等セミナー センター・公民館職員等研修講座 家庭教育・子育て支援担当者研修会 事業プログラム企画運営研修講座 事業担当者のための評価研修会 コミュニケーションスキルアップ研修講座 広報スキルアップ研修講座 復興支援セミナー 学校と地域の協働のための研修会</p> <p>岩手県地域視覚教育協議会専任職員等研修会 学校支援地域コーディネーター等研修会 読書ボランティア研修会 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会 子育て支援活動交流研修会 子育て・家庭教育相談担当者研修会 子育て・親育ちサポートサロン 子どものまなびを支えるセミナー(青少年教育担当者研修会)</p> <p>放課後児童支援員認定資格研修 随時研修(通年)、出前研修(講師派遣) 北東北3県生涯学習センター職員交流研修会 岩手県生涯学習推進研究発表会</p>	<p>【県立図書館関係】 新任図書館長等研修会 図書館等初任職員研修会 図書館職員・図書館協議会委員会合同研修会 市町村職員専門研修</p> <p>【文部科学省、社会教育実践センター等】 全国生涯学習センター等研究交流会 地域教育力を高めるボランティアセミナー 公民館職員専門講座 図書館司書専門講座 図書館地区別研修(北日本) 新任図書館長研修 博物館長研修 社会教育主事専門講座 メディア教育指導者講座 博物館学芸員専門講座 美術館を活用した鑑賞教室の充実のための指導者研修 全国博物館長会議 学芸員等在外派遣研修</p> <p>【独立行政法人 国立女性教育会館】 ・男女共同参画推進フォーラム ・地域における男女共同参画推進リーダー研修</p>
---	---

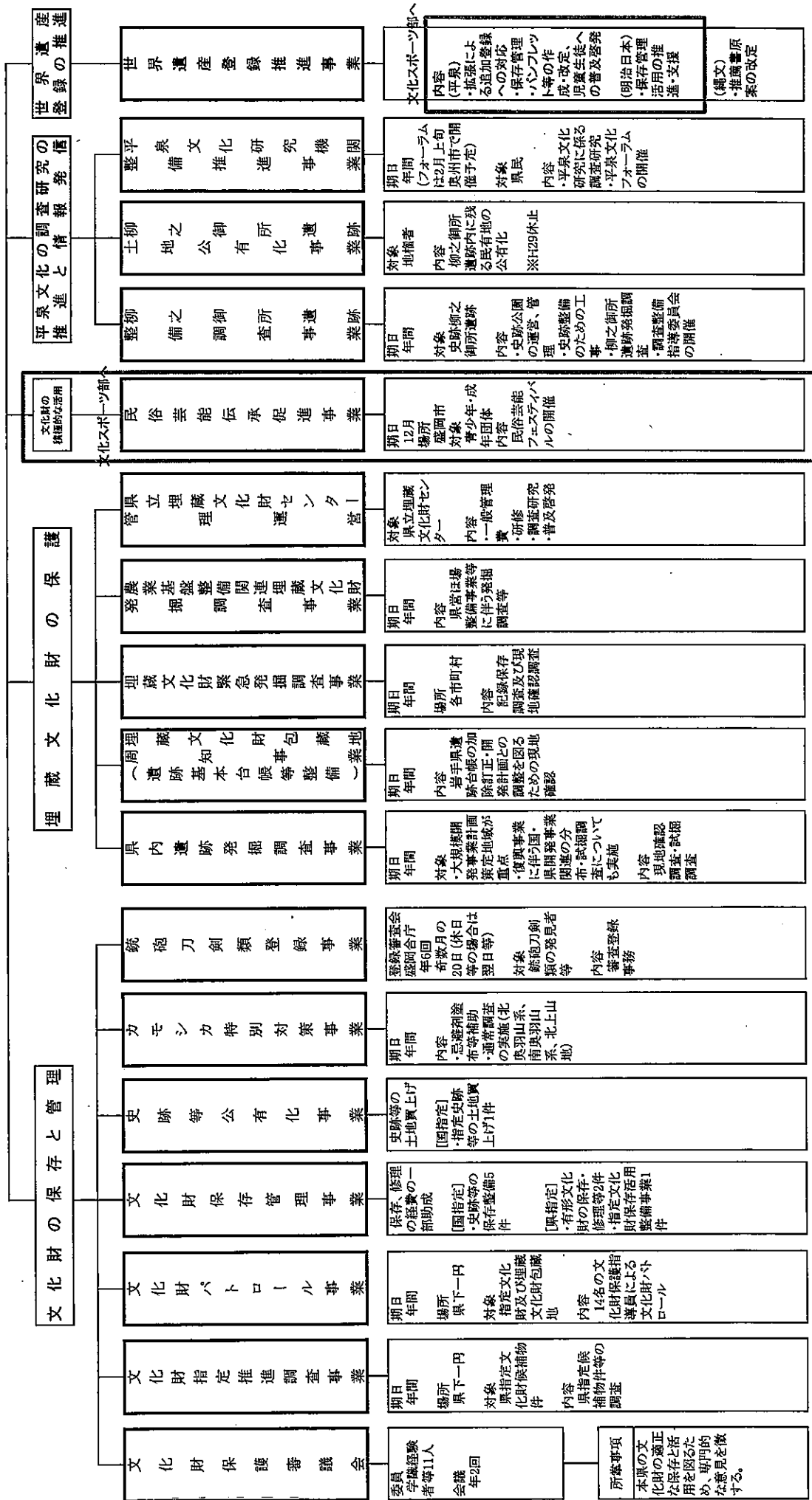
<p>社会教育関係団体への助成</p> <p>【総括団体】 社会教育関係団体連絡協議会 【構成10団体】 岩手県青年団体協議会 日本ボーイスカウト岩手連盟 ガールスカウト岩手県連盟 特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会 岩手県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 (一社)岩手県PTA連合会 岩手県高等学校PTA連合会 岩手県社会教育連絡協議会 岩手県エヌエヌ協会連盟 岩手県子ども育成連合会</p>	<p>社会教育基本調査 ・全市町村対象 10/1現在で調査 ・集計は、生涯学習推進センター</p>
--	---

<p>社会教育施設の整備充実</p> <p>県立図書館運営 県立青少年運営 整備運営充実に 実の</p>	<p>社会教育関係団体貸出部門 (視覚ライブラリー) (県立図書館) ・盛岡教育事務所管内教育振興協議会(盛岡市等) ・北上市立北巻図書館視覚教育ライブラリー(花巻市) ・北上市視覚ライブラリー(北上市) ・西和賀町視覚ライブラリー(西和賀町) ・県南第一地域視覚教育協議会(奥州市等) ・沿岸第一地域視覚教育協議会(大船渡市) ・釜石市視覚ライブラリー(釜石市) ・遠野市視覚ライブラリー(遠野市) ・大槌町視覚ライブラリー(大槌町) ・久慈市視覚ライブラリー(久慈市) ・宮古市視覚ライブラリー(宮古市) ・山田町視覚ライブラリー(山田町) ・岩泉町視覚ライブラリー(岩泉町) ・二戸市視覚ライブラリー(二戸市)</p>
--	--

<p>社会教育関係団体への助成</p> <p>公立社会教育施設災害復旧事業 市町村における社会教育施設の災害復旧への支援 ※ 国庫補助事業 ・現地調査 ・額の確定 ・前金払、精算私 【該当市町】 ・陸前高田市 ・大槌町</p>	<p>「チーム社教」推進事業 ○県社会教育主事等でチームを編成し、市町村の生涯学習・社会教育行政の支援を行う。 ・市町村の社会教育事業や社会教育施設等の実態把握及び支援方策の検討 ・市町村各地域の課題把握及び支援方策の検討 ・市町村、各地域の課題解決の支援</p>
---	--



# 6 文化財の保護



# 7 社会教育施設等の環境整備

拠点施設の実		充		能		の		機		設		の		実	
博		物		館		青		少		年		の		家	
県立博物館の管理運営		県立美術館の管理運営		県南青少年の家の管理運営		陸中海岸青少年の家の管理運営		県北青少年の家の管理運営		高田松原野 センターの 活動の整備					
内容 ・施設等の維持管理 ・展示事業の実施 ・研究研究の実施 ・県民に対する教育普及活動事業の実施 ・指定管理者による自主事業等		内容 ・施設等の維持管理 ・展示事業の実施 ・調査研究の実施 ・県民に対する教育普及活動事業の実施 ・指定管理者による自主事業等		内容 ・施設等の維持管理 ・研修事業の実施 〔青少年の健全育成指導者の養成実施団体の要請〕 ・指定管理者による自主事業等		内容 ・施設等の維持管理 ・研修事業の実施 〔青少年の健全育成指導者の養成実施団体の要請〕 ・指定管理者による自主事業等		内容 ・施設等の維持管理 ・研修事業の実施 〔青少年の健全育成指導者の養成実施団体の要請〕 ・指定管理者による自主事業等		内容 H29 グラウンド他、造成設計 H29-30 建物設計 H30-32 グラウンド整備 H31-32 建物整備 H33 開所予定					

## 平成 29 年度主要施策の実施状況 (要旨)

公所名 学校調整課

説明者 総括課長 小久保 智史

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
いわての復興教育の推進	近年の自然災害の発生状況や文科省通知を踏まえ、各学校で避難所運営演習や避難訓練の改善など実践的な防災教育・防災管理の推進を支援することができた。また、宮古・久慈における「地域連携」の取組を支援し、異校種や地域との連携の充実・強化を図った。 今後は、震災津波の経験を風化させない取組や各地域で想定される様々な自然災害等に備える実践的な防災教育を進めたい。
幼児児童生徒の心のサポートの充実	東日本大震災津波による被害が大きかった地域へのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の派遣や専門家で構成する県内大学チームによる支援、「心とからだの健康観察」の実施・活用等を実施した。「心とからだの健康観察」結果において、サポートを要する児童生徒の割合は、全県で H23 14.6%、H24 12.6%、H25 12.0%、H26 11.9%、H27 11.5%、H28 11.5%となっている。今後とも継続した支援が必要である。
いじめ問題対策	自殺予防の取組、いじめ問題への対応についての教員研修の充実を図るとともに、「いじめ問題解決支援チーム」の派遣等を実施した。今後も、国の「いじめ防止等のための基本的な方針」の改定を踏まえ、いじめ問題への適切な対応に係る研修の充実や各学校への支援を実施していく。

## 2 重点事業の状況 (2～3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
いわての復興教育推進支援事業	①いわての復興教育スクール実践校の指定 ②いわての復興教育・防災教育実践研修講座 ③復興教育研修会(各教育事務所)の実施 ④「震災の教訓を未来に語り継ぐ期間」	①H30.3.31 まで ②H29.6.5 ③H29.7月～12月の間 ④H30.2月～3月の間	①27校(小10,中10,県立7) ②小中県立学校教員52名 ③6教育事務所計460名 ④各学校の計画による	①H30.3.31まで実施 ②③カリキュラム・マネジメントの視点や地域の実状に応じたいわての復興教育を推進することができた。 ④今後実施予定
防災教育推進事業	①岩手県防災教育研修会 ②学校防災アドバイザー派遣事業 ③防災教育に係る学校訪問 ④防災教育実践交流会の開催	①H29.6.13 ②H30.2月まで随時 ③H30.3月まで随時 ④H30.2.9 県教育研究発表会)	①教員、市町村教委、市町村等約178名 ②44校(1月現在) ③小中学校、県立学校94校訪問予定 ④教員、関係機関等	①研修対象者を管理職とし、避難所運営に関する研修により、防災意識の醸成が図られた。 ②H30.2月まで実施 ②各校の危機管理マニュアル等への助言を行うことで、学校体制の確立を図ることができた。 ③今後実施予定
スクールカウンセラー等配置事業	①実態やニーズに対応した研修会実施 ②沿岸部への人的支援の充実 ③「心とからだの健康観察」の実施	23年度からの継続的な取組	県内公立幼稚園等、小中学校、義務教育学校、高等学校、幼児児童生徒	震災からの時間の経過を踏まえ、ニーズに対応した「研修」「人的配置」と「心とからだの健康観察」を併せて事業を進めることができた。

## 平成30年度( 学校調整課 ) 事業計画概要

## 事業計画概要

領域	事業名	実施内容	期日・期間	対象・人数
いわての復興教育・防災教育の推進	いわての復興教育推進事業	①「いわての復興教育スクール」実践校の指定(沿岸被災地) ②復興教育副読本の効果的な活用の推進 ③いわての復興教育実践発表会 ④「震災の教訓を未来に語り継ぐ期間」	①② H30年度間  ③H31年1月 ④H31年2月～3月	①③④ 小・中・義務教育学校、県立学校 ②小・中・義務教育学校、特別支援学校 小・中学部
	防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業	①「いわて防災スクール」実践校の指定(内陸部) ②学校防災アドバイザー派遣の実施 ③県防災教育研修会の実施	①② H30年度間  ③H30年6月	①② 小・中・義務教育学校、県立学校 ③小・中・義務教育学校、県立学校教員、市町村教委及び防災担当者等
教育相談体制の充実	スクールカウンセラー等配置事業	・スクールカウンセラーの重層的な配置を行い教育相談体制の一層の充実を図る。	H30年度間	・幼児児童生徒
	スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業	・各教育事務所配置にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒が置かれている環境の改善に関する支援を強化する。	H30年度間	・小・中・義務教育学校の児童生徒
	スクールソーシャルワーカーの派遣	・県立学校へスクールソーシャルワーカーを派遣し、児童生徒の環境の改善に関する支援を行う。	H30年度間	・県立学校の児童生徒
	心とからだの健康観察	・県内全ての公立学校の児童生徒を対象とする調査。児童生徒一人ひとりの経年変化がわかる資料を提供する。	毎年9月実施	・全ての児童生徒を対象として実施
いじめ問題対策	教員研修	・全校種の教員研修を実施する。 ・総合教育センターにおける特別研修に、いじめ防止等に係る2つの講座を実施する。	H30年度間	・小・中・義務教育学校、県立学校の教員
	「いじめ問題解決支援チーム」の派遣	・各学校等が抱える解決が困難ないじめ事案について、専門的な知見からの助言等を行うことにより、重大事態に至ることを防ぐとともに、各学校におけるいじめ問題への組織的対応力の向上を支援する。	H30年度間	・小・中・義務教育学校、県立学校 ・市町村教育委員会

## 平成 29 年度主要施策の実施状況 (要旨)

公所名 学校教育課

説明者 総括課長 中島 新

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
グローバル人材の育成	<p>政策地域部国際室との連携事業として、イーハトーブ・イングリッシュ・キャンプ (IEC) と北米派遣を実施した。</p> <p>IEC は英語漬けの 2 泊 3 日のキャンプであり、夏と秋の 2 回実施した。JET プログラムの ALT・CIR の 10 名を講師とし、県内の中・高校生 51 名 (中 4、高 47) が参加した (夏は中国雲南省派遣生徒 12 名も研修として参加)。英語技能向上とグローバル意識の涵養を目的とした内容であり、アンケートでは参加した全生徒から「良い」との評価が得られた。</p> <p>また、北米派遣では、選抜された高校生 10 名をカナダ・アメリカへ 16 日間派遣し、英語運用能力の向上と、現地邦人企業や現地高校への訪問による海外ネットワークを構築した。派遣生徒は進路意識や将来の方向性が具体的になり、参加者全員が「非常に有意義」との評価であった。</p> <p>IEC、北米派遣に参加した生徒は英語学習に対してだけでなく、日常生活においても積極的になる、将来への希望を明確にもつことができるようになるなど、多大な成果を上げた。</p> <p>今年度の方向性を踏まえつつ、次年度は新規事業として内容をさらに充実させていきたい。</p>

## 2 重点事業の状況 (2～3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
希望郷いわてグローバル人材育成事業	<p>① 2泊3日のイングリッシュ・キャンプの実施 (夏と秋)</p> <p>② 約2週間の生徒の海外派遣 (カナダ・アメリカ)</p>	<p>① 7/15～17、11/23～25</p> <p>② 10/14～29</p>	<p>① 中高生 51 名 (中 4 高 47)</p> <p>② 高校生 10 名</p>	<p>① 英語を通じて積極的に他と関わろうとする人材を育成することができた。</p> <p>② 世界で活躍する岩手県出身者との現地交流により、将来の方向性が具体的になった生徒もいた。</p>

※ 適宜、内容等を工夫し、A4 判 1 枚にまとめてください。その他補足資料がある場合は、別途提出 (45 部) 願います。(様式自由)

(様式2-2)

平成30年度( 学 校 教 育 課 ) 事業計画概要

事業計画概要

領 域	事 業 名	実 施 内 容	期 日 ・ 期 間	対 象 ・ 人 数
グローバル・グローバル人材の育成	いわての地域国際化人材育成事業	①小5～中1対象イングリッシュ・キャンプ(Hop) ②中1～高3対象イングリッシュ・キャンプ(Step) ③中1～高3対象グローバル・キャンプ(Jump) ④生徒の海外派遣	①H30年 6・7・9・11月 ②H30年 9・12月 ③H30年 8・11月 ④H30年10月 ～11月の約2週間	①小学生5年 ～中学生1年 ②中学生1年 ～高校生3年 ③中学生1年 ～高校生3年 ④高校生2・3年

※ 様式任意です。

## 平成29年度主要施策の実施状況(要旨)

公所名 保健体育課

説明者 総括課長 荒木田 光孝

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
健やかな体を育む教育の推進	<p>【成果】地区別体力向上課題対策会議や60運動推進プロジェクト事業の実施等により「希望郷いわて 元気・体力アップ 60 運動」への理解が深まってきており、学校・家庭・地域が連携した体力向上に係る環境づくりの充実が図られてきたこと。</p> <p>【課題】各学校の体力向上の取組の推進と併せて、幼児児童生徒の望ましい生活習慣の確立や肥満予防・対策の継続した取組が必要であること。</p>
豊かなスポーツライフの振興	<p>【成果】子供たちが教科や運動部活動において、「する・みる・支える・知る」といった運動・スポーツとの多様な関わり方を学ぶことができるようオリンピック・パラリンピック教育を推進することができた</p> <p>【課題】高体連等の関係団体との連携や優れた指導者の育成、特別強化指定校等への配置を進めることなどにより、中長期的視野に立った選手育成・競技力向上の継続的な取組が必要であること。</p>

## 2 重点事業の状況

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
学校における子供の体力向上課題対策プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象を幼稚園に拡大し実施</li> <li>体力や肥満について課題を抱える学校に対して個別支援を強化</li> </ul>	通年	幼稚園・小学校・中学校 実践校(小学校6校)	<p>【成果】体力向上の取組に係る実践研究を行い、運動習慣の形成に向けた環境づくりの在り方について明確化</p> <p>【課題】家庭・地域への一層の啓発活動</p>
学校保健総合支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「協議会」「肥満指導資料検討委員会」及び「運動開発検討委員会」の開催を継続し、指導資料の改訂・普及を実施</li> </ul>	6～2月	委員	<p>【成果】各種研修会の開催や肥満予防・対策に係る指導資料を作成し、指導の方向性を明確化</p> <p>【課題】学校・家庭・地域の連携による取組の普及</p>
民間活力による運動部活動支援体制の構築のための実践研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な休養日の設定及び医・科学を活用した指導の普及を図ること</li> </ul>	運動部活動	希望制	<p>【成果】効果的な指導により、生徒の体力・運動能力の向上</p> <p>【課題】教職員・保護者・外部指導者の指導方針の共通理解</p>
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>国体のレガシーの継承とオリンピック・パラリンピックの開催を契機に、児童生徒の運動・スポーツへの関心を高めること</li> </ul>	10月～2月	小学校5校 中学校5校 高等学校2校	<p>【成果】スポーツへの興味・関心を高めるとともに、教育的価値の学びを支援</p> <p>【課題】推進校の拡大</p>

(様式2-2)

### 平成30年度保健体育課事業計画概要

#### 事業計画概要

領域	事業名	実施内容	期日・期間	対象・人数
健やかな体を育む教育の推進	子供の運動習慣アップ支援事業	・幼児児童に対して、運動遊びプログラムを通じて楽しみながら多様な動きを身に付ける機会を提供し、日常的に運動・スポーツを実施する習慣の獲得を支援する。	通年	幼稚園等 (モデル園1園) 小学校等 (希望校6校)
	学校保健総合支援事業	・高校生の肥満の実態を調査分析するとともに、保護者用啓発資料を活用した保健指導を行うなど、肥満解決に向けた取組を推進する。	通年	高等学校14校 (調査協力校)
	部活動指導員配置事業	・部活動指導員の配置による部活動指導体制の充実を推進し、部活動を担当する教員の負担軽減を図るとともに、部活動の質的な向上を図る。 ・岩手県版運動部活動のガイドラインの策定や部活動の運営の適正化に向けた取組を推進する。	通年	部活動指導員105名 ※配置人数調整のため (市町村57名) (県立学校48名)
豊かなスポーツライフの振興	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	・オリンピック・パラリンピック教育を通して、大会そのものへの興味関心の向上だけでなく、スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等の教育的価値の学びを支援し、幼児から高校生、特別な支援が必要な児童生徒が、生涯にわたって活力があり豊かな生活を営むことを目指した総合的な取組を推進する。	通年	小学校6校 中学校6校 高等学校3校 特別支援学校1校



**平成 29 年度主要施策の実施状況 (要旨)**

公所名 生涯学習推進センター  
 説明者 所長 佐藤 寛

**1 総括的な成果と課題**

項 目	成 果 と 課 題
領域 (1) 学習情報提供・学習相談	<p>○HP「まなびネットいわて」の指導者・ボランティア登録者の更新を行うなどコンテンツの充実に努めるとともに、広報紙及び電話対応と併せて多様な情報提供と相談対応を行うことができた。</p> <p>▽今後も社会教育及び地域づくり関係者によりきめ細やかな学習情報が届けられるよう、定期的なHPの更新等に努めたい。</p>
領域 (2) 調査・研究の推進	<p>○学校と地域の連携・協働の実態の把握及び社会教育事業の評価の課題を明らかにし、実践研究を通して「学校と地域の連携・協働のあり方」と「効率的・効果的な事業評価のあり方」の提案を行うこととしている。</p> <p>▽提案内容の定着と継続的な取組が図られるような周知・啓発の工夫及び支援に取り組みたい。</p>
領域 (3) 指導者の養成・研修の充実	<p>○県の施策及び受講者のニーズを踏まえた研修講座を開設するとともに、講師対応等により満足度の高い評価を得るなど、研修内容の充実に努めることができた。</p> <p>▽地域づくりの核としての公民館や地区センターのあり方、学校と地域の連携・協働の促進や青少年教育のネットワークを形成するための研修等を行う必要がある。</p>

**2 重点事業の状況**

事業名	趣 旨・内 容	期日・期間	参加状況	成 果 ・ 課 題
領域 (2) 事業 ○調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「効率的・効果的な事業評価のあり方に関する実践的研究」(2/2年次)</li> <li>・「学校と地域の連携・協働のあり方に関する実践的研究」(1/2年次)</li> </ul>	発表会 H30. 2/1-2	---	<p>○市町村における社会教育の評価のあり方、学校と地域の連携協働のあり方を提案する。</p> <p>▽市町村への普及と支援が必要である。</p>
領域 (3) 事業 ○センター長・公民館長・主管課長等セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習・社会教育及び地域づくりを担う施設長・担当部局長における施策推進に関する研修の実施</li> </ul>	6/16	55名	<p>○公民館や地区センター等の現代的意義について理解を深めるとともに、地域住民が事業主体となっている公民館活動を紹介することができた</p> <p>▽研修内容を工夫し、主管課長の受講者増を図りたい。</p>
領域 (3) 事業 ○子育て・親育ちサポートサロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みを抱える子育て中の保護者等に対して、家庭教育・子育てに関する学習の場の提供をするとともに保護者と県の子育てサポートを含めた地域の子育て支援関係者とのつながりをつくる研修の実施</li> </ul>	盛岡 7/1 中部 6/10 県南 11/18 沿岸南部 6/24 宮古 7/8 県北 7/22 ※土曜日実施	盛岡 41名 中部 22名 県南 21名 沿岸南部 18名 宮古 17名 県北 22名 合計 141名	<p>○保護者等がこれまでの子育てをふりかえる場となり、地域の子育て支援関係者ともつながることで、今後の子育ての見通しをもつことができた。</p> <p>▽市町村が地域の子育てサポート者とのつながりをつくれるよう更に支援する必要がある。</p>

平成30年度 生涯学習推進センター研修講座等一覧(指導者の養成・研修)

平成30年度新規事業

区分	研修・講座名	内 容	期日等	対象の詳細	定員
主に市町村・施設・関係職員を対象	新任生涯学習関係職員研修講座	生涯学習・社会教育の推進に関する基本的事項及び職務に関する研修	4/26(木)～27(金)	県・市町村生涯学習・社会教育関係新任職員	100
	社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座	社会教育指導員・地域づくり関係職員等としての必要な専門的事項に関する研修	5/11(水)	社会教育指導員、センター職員、地域づくり関係者	50
	家庭教育・子育て支援担当者研修会	家庭教育支援・子育て支援にあたる地域人材の活用や連携の充実を図る市町村担当者のための研修	5/18(水)	市町村家庭教育・子育て支援担当職員	40
	センター長・公民館長・主幹課長等セミナー	生涯学習・社会教育及び地域づくりを担う施設長・担当部長における施策推進に関する研修	6/15(金)	センター長、公民館長、市町村生涯学習担当課主幹課長	50
	事業プログラム企画運営研修講座	事業プログラム企画運営に関する研修	7/31(火)	県・市町村生涯学習・社会教育関係職員	50
	センター・公民館職員等研修講座	地域づくりを担う地区センター・公民館職員のスキルアップを図る研修	盛岡会場1回 中部会場1回 県南会場1回	センター職員、公民館職員、市町村担当職員	各30
	学校と地域の協働のための研修会	学校・地域関係者を対象に、学校支援地域本部事業の事業理解を促し、学校と地域の連携の充実を図る研修	8/7(火)	県・市町村生涯学習・社会教育担当課職員、学校関係者、学校支援地域本部関係者	50
	コミュニケーションスキルアップ研修講座	生涯学習関係職員等に不可欠な実践的対人スキルの向上を図る研修	8/9(木)	県・市町村生涯学習・社会教育関係職員、学校関係者	50
	広報スキルアップ研修講座	魅力的かつ効果的な周知・広報活動に関する研修	9/21(金)	県・市町村生涯学習・社会教育関係職員	50
	子育て・家庭教育相談担当者研修会	子育て支援・家庭教育支援にあたる電話相談等職員及び保護者支援にあたる子育て支援人材のスキルアップを図る研修	①10/12(金) ②2/20(水)	県・市町村電話相談担当者、子育て支援関係者、岩手県子育てサポーター、放課後児童支援員	各30
事業担当者ための評価研修会	社会教育における事業評価の考え方と実践的な活用方法に関する研修	10/16(火)	県・市町村生涯学習・社会教育関係職員	40	
岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会(共催)	AVL運営上必要なメディアに関する専門的知識・技術に関する研修	6/21(木)～22(金)	地域AVL専任職員等	—	
ボランティア活動者・有志指導者を対象	学校支援地域コーディネーター等研修会	学校の地域連携の推進と学校支援地域本部事業を推進するコーディネーター等の資質向上に関する研修	6/8(金)	地域コーディネーター、市町村事業担当職員、学校関係者	50
	読書ボランティア研修会・センター会場	読書ボランティアの資質向上と読書活動の推進を図るネットワークの形成に関する研修	①6/20(水) ②9/12(水)	読書ボランティア、読書推進関係者、市町村読書推進担当職員	①100 ②100
	放課後子どもプラン指導者合同研修会	「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の指導者等の情報共有や連携の促進、資質の向上に関する研修	①7/10(火) ②11/15(木)	市町村事業担当者、放課後子ども教室指導員、放課後児童支援員	各100
	子育て支援活動交流研修会	家庭教育・子育て支援関係者の資質向上とネットワーク形成に関する研修	9/4(火)	岩手県子育てサポーター、子育て支援関係者、市町村家庭教育・子育て支援担当職員	80
	子どものまなびを支えるセミナー(仮称:青少年教育担当者研修会)	青少年教育担当者の資質向上とネットワーク形成に関する研修	センター会場 9/13(木) 沿岸南部会場1回 宮古会場1回 県北会場1回	県・市町村青少年教育関係職員、青少年教育施設職員、NPO・地域づくり関係者、社会教育関係団体(青少年関係)職員	各30
	復興支援セミナー	沿岸被災地において、学校と地域の連携を図る事業(放課後子ども教室・学校支援地域本部事業・公民館事業)の推進を支援する研修	沿岸南部会場1回 宮古会場1回 県北会場1回	子どもの学びを核とした事業の関係者、市町村生涯学習・社会教育関係職員等	各30
	子育て・親育ちサポートサロン	子育て中の保護者等に対して、家庭教育・子育てに係る学習機会を提供するとともに、地域の子育て支援関係者とのつながりをつくる研修	各教育事務所会場 各1回	子育て中の保護者、岩手県子育てサポーター、子育て支援関係者、市町村家庭教育・子育て支援担当職員	各20
要請研修	随時研修	生涯学習・社会教育に係る団体が、当センターの職員、施設・設備を活用して随時実施する研修	通年		
	出前研修(講師派遣)	生涯学習・社会教育に関する事項及び教育振興運動の推進に関する事項等について、市町村や関係機関等の要請により職員を派遣して実施する研修	通年	対象を特定せず、市町村等の要請に応じて行う	
その他	放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員として必要な基本的な生活習慣の習得の支援、自立に向けた支援、家庭と連携した生活支援等に必要知識・技能を習得するための研修	盛岡会場・県北会場・ 県南会場・沿岸会場 (各会場:2日×2回)	放課後児童支援員	各100
	キャリア教育支援事業 高等学校卒業程度認定試験	文部科学省の依頼を受け、様々な理由で高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験	11/10(土)～11(日)	県民	—
	北東北3県生涯学習センター職員交流研修会	北東北3県の生涯学習センター職員が各県の生涯学習関係事業に関する情報を交流し、各県の事業の充実を目指す研修	8月上旬	岩手県、青森県、秋田県の県立生涯学習センター職員	15
	岩手県生涯学習推進研究発表会～地域づくり・人づくりフォーラム2018～	本県生涯学習・社会教育の推進に係る提案として、調査研究事業の成果等を発表	1/31(木)～2/1(金)	県・市町村生涯学習・社会教育関係職員、県民	150

## 平成 29 年度主要施策の実施状況 (要旨)

公所名 岩手県立図書館  
 説明者 副館長 高橋一教

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
(1) 図書館資料の収集・整理・保存・活用 (2) 図書館サービスの充実 (3) 市町村立図書館等への支援と連携の推進 (4) 県外機関・団体との連携	<p><b>【成果】</b></p> (1) 図書館資料収集方針・選定基準を見直し効率的収集に努めるとともに、各種事業や図書館PR等を通じて利用増進に努めた。 (H28 来館者数 429,892 人(全都道府県立 16 番目、東北 2 番目)) (2) 利用者の様々な調べもの(レファレンス)支援や企画展、映画会、読み聞かせなどを開催した。 (H28 レファレンス件数 22,121 件(全都道府県立 16 番目)) (3) 市町村立図書館等職員を対象に研修(3 研修 5 回)を実施し、職員の知識・技能の向上を支援した。 被災図書館等の課題や再建計画などを把握し、助言等を行った。
	<p><b>【課題】</b></p> ① 来館者数は高い水準にあるものの遞減しているため、一層の図書館資料の充実と特色のあるサービスの提供に努める必要がある。 ② 市町村立図書館等の運営を助言・支援できる人材を育成し、指定管理者の協力を得ながら支援体制の充実を図る必要がある。

## 2 重点事業の状況 (2~3)

事業名	趣旨	内容・期日	参加状況	成果・課題
県民の読書活動促進事業	・読書週間を重点に読書推進活動を展開	① こどもの読書週間 4/23~5/12 ② (全国)読書週間 10/27~11/9 ③ 岩手の読書週間 2/1~2/14	[週間中の県内行事数] ①150 行事 ②153 行事	今年度新たに、読書推進標語の応募校を対象に取組人数を調査。 ・児童生徒応募数 1,131 点 ・取組校数 40 校 ・取組人数 5,795 人
市町村立図書館等運営支援事業	・職員の知識技能の向上 ・運営状況や課題等の把握・支援	①新任館長等研修 4/21 ②初任職員研修 5/18~19 ③専門職員研修 9/8、11/2、11/10 ④市町村(図書館)訪問	①25 人 ②30 人 ③29, 21, 12 人	①②③ 3つの研修(計 5 回)の満足度は平均 80.0% ④24 市町村(のべ 29 館)を訪問
県外機関・団体との連携事業	・児童文学に触れる機会の拡大 ・北海道、東北各県の図書館職員の技能向上	①シンポジウム「子どもの本の視点から震災を振り返る」9/24 ②北日本図書館大会 6/15~16 ③図書館地区別(北日本)研修 11/15~17	①約 110 人 (翌 9/25 には高田高校生徒 20 人がシンポジストの詩人による授業を受けた) ②148 人 ③87 人	①国立国会図書館国際子ども図書館等との共催 ②北日本図書館連盟等との共催 ③文科省委託事業として実施

## 平成 30 年度岩手県立図書館事業計画概要

## 事業計画概要

領 域	事 業 名	実 施 内 容	期 日 ・ 期 間	対 象 ・ 人 数
図書館機能の向上	図書館資料の収集・活用	・望ましい蔵書構成に沿って作成する収集方針に基づく図書館資料の収集および活用	H28 所蔵調査 H29 蔵書構成検討、収集方針を決定 H30～方針に基づく収集	
	郷土・震災資料の網羅的収集・活用	① 古文書等の解説、デジタルアーカイブ化の推進 ② 震災資料の収集、活用（企画展）。復興局の「岩手県震災アーカイブ事業」への協力	① 通年 ② 通年 （震災資料の企画展は 2 月～3 月）	
	利用者サービスの向上	・レファレンスの充実、企画展等各種催事の開催	通年	
県民の読書活動の促進	全県的な読書活動の促進	① 県内図書館等において読書推進関連イベントの開催 ② 読書推進標語・手づくり絵本の募集・表彰 ③ 「読書をすすめるつどい」（表彰・講演等）の開催	読書週間中 6 月～2 月 2 月	① 県内図書館等 ② 小中高校生、一般、親子 ③ 一般、図書館関係者
市町村立図書館等への支援と連携の推進	市町村立図書館等訪問による支援等	① 県内図書館等訪問による運営状況の把握・助言・支援 ② 相互貸借・団体貸出等支援	4 月～11 月 通年	
	市町村立図書館等職員の育成	① 各種研修の実施 ② 県内図書館等職員の参加による調査研究を実施	4 月～11 月 9 月～3 月	県内図書館等職員
県立図書館の円滑な運営	県職員の育成	① 新任職員等を対象に研修計画を策定し、研修を実施 ② 職員を司書（または司書補）講習に派遣して資格を取得させ、専門性を向上	① 策定 4 月 研修 通年 ② 講習 7 月～9 月	
	図書館設備等の計画的更新	・図書館設備・備品の安全点検の実施・計画的更新	通年	
	指定管理業務の確認・支援	① 指定管理業務モニタリング ② 運営課題等定期打合せ	月 1 回 月 2 回	
	次期指定管理者の指定への対応	・基本方針・募集要項等の検討・作成等への対応	通年 （12 月議会に指定議案を上程）	



2月

今月の休館日は

28日(水)

です。

蔵書点検の定例 深月の休館日は

25日(日)~31日(土)です	土	金	木	水	火	月
	3	2	1	1	2	3
	10	9	8	7	6	5
	17	16	15	14	13	12
	24	23	22	21	20	19
	31	30	29	28	27	26

第58回岩手の読書週間

目次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
場所	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
4階展示コーナー	<p>企画展 第38回 手塚の絵本展</p> <p>いわさきみちひろ生誕100年 ～こどもたちのしあわせを願って～ 開催期間は2/2～11</p>																											
3階図書コーナー	<p>中高年向けイベント</p> <p>転倒しないための体操 講師 谷地館 瑠奈氏 13:30～(いしどりや整骨院) 事前申込が必要です</p>																											
3階児童コーナー	<p>飾り棚</p> <p>いばきちひろ生誕100年</p>																											
子ども図書館	<p>おはなしがすてーしよん 4日▶14:30～ 4日▶10時～13時 10日▶11時～13時 手づくりがみしい 10日▶14:30～</p>																											
4階展示コーナー	<p>ワインターズゲームズ展!</p>																											
FEBRUARY	<p>おはなしがすてーしよん 18日▶4:30～ 読者/トをくろう! 18日▶13時～15時</p> <p>7がしーおはなし会 25日▶14:30～ 26日▶11:30～</p> <p>13時30分～ 事前申込不要</p>																											

### 企画展 第38回 手さき絵本展

**期間** 2/2(金)～2/11(日・祝)

**会場** 4階展示コーナー

第71回読書週間にあわせ募集した手づくり絵本を、岩手の読書週間にあわせ展示します。一人ひとりの個性が生かされた作品の数々をぜひお手にとってご覧ください。

**同時開催** いわさきちひろ生誕100年～こどもたちのしあわせを願って

いわさきちひろが平和への願いを込めて作った絵本の一部をパネルで展示します。絵と言葉で表現される作品に込められた思いを、この機会にぜひご覧ください。

### 企画展 岩手の医学

**期間** 2/23(金)～4/15(日)

**会場** 4階展示コーナー

まじないから西洋医学の導入まで、日本の医学の歴史をたどり、江戸時代の岩手ゆかりの医師を紹介し、さらに近代岩手の医学教育の歩みを振り返ります。

**ギャラリートーク** 2/25(土) 15:05頃～(20分程度) 会場:4階展示コーナー

### 休館のお知らせ

**2018年 3/25(日)～31(土)**

岩手県立図書館は、年度末蔵書点検のため、上記の期間を休館とさせていただきます。利用者の皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきましてありがとうございます。

**休館中の本の返却**

アイーナの下記ブックポストをご利用ください

- 1階身障者用駐車場入り口脇
- 3階入り口脇
- 3階図書館入り口付近

### ★子ども図書館フェスティバル★

お子さん連れのご家族や、児童コーナーに興味のある方の参加をお待ちしています!!

**親子で図書館さんぽ** 4日(日) 10時～13時

**読書ノートをつくろう!** 10日(土) 11時～13時 受付、18日(日) 13時～15時 受付

自分だけのがっつり、かわいいノートをつくろう!

**ぬいぐるみのとしよかんおとまり会** 3階児童コーナー 先着15名(参加費無料)

当日のおはなし会に参加でき、翌日2/25にぬいぐるみのおとまり会が可能な方、ぬいぐるみのしよかんを持って、おとまり会に参加してください。

申込:3/19(土)から児童課かかた(019-606-1730) 電話受付

**3日、宝珠材バトル** 自分のオスメ本を発表してみませんか?1人持ち時間3分で観覧者に「読みたい!」と思わせることができると、発表している本の知的報酬合戦です!

24日出 13時30分～ 会場:3階児童コーナー (参加:開演自由/直接会場へ)

### 映画会

子ども ▶ 11:00～ 一般向け ▶ 14:00～

**おはなし会** ◆14:30～ ◆3階 お話し室

**おはなし☆すてーしょん** 絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなど、幼児から大人までどうぞ。

**手づくりかみしばい** 『手づくりかみしばいの会 ふくろう』による紙芝居、絵本の読み聞かせなど。

**7アミリーおはなし会** 『日ようひの椅子』による絵本の読み聞かせなど。

### 図書館さんぽ カンパニー

図書館コンシェルジュ(案内人)と一緒に館内さんぽが気分、おさんぽしませんか?

**2/26(日) 11:30～** 集合 3階コンシェルジュデスク前

### 必ず読め本コーナー & ミニ展示

**バレンタインBOOKS**

2/14はバレンタインデーです。そこで今回は、恋愛を題材とした文学作品や、恋愛心理などの本を展示します。あわせて、チョコレート、の歴史や、贈り物の本などもご紹介いたします。

**3階 図書コーナー**(総合カウンター前)

起業に関する所蔵資料の展示、貸出を行います。

(3階 ミニ展示コーナー)

### ピックアップ! 岩手県

岩手県の部局別に、現在実施している事業や、催事のチラシ等をピックアップして紹介し、当館所蔵関連資料も展示します。

(3階 飾り棚)

**いわさきちひろ生誕100年** 絵本作家 いわさきちひろ生誕100年にあわせ、当館所蔵の関連図書を紹介いたします。

(3階 児童コーナー)

### ウィンタースポーツを楽しむ

冬季オリンピック開催に合わせて、ウィンタースポーツをより楽しめるよう、実技・ルールに関する資料のほか、ウィンタースポーツを題材にした文学なども展示します。

(4階 ミニ展示コーナー)

**岩手県立図書館** 開館時間 9:00～20:00

**休館日** 2月28日(水)

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 いわて県民情報交流センター・アイーナ内 TEL 019-606-1730 / FAX 019-606-1731

## 平成 29 年度主要施策の実施状況 (要旨)

公所名 岩手県立博物館

説明者 副館長 千葉 徳郎

## 1 総合的な成果と課題

項目	成果と課題
(1) 調査研究活動の推進と効果的な資料収集活動	<p>【成果】関係機関と連携し、積極的に調査・研究活動や資料収集を行ったほか、資料収集方針を改定した。また、東日本大震災による被災文化財で、修復が完了した資料のデジタル化等を進め、学校教育等に活用した。</p> <p>【課題】被災資料の安定化処理後の経過観察を実施し、必要に応じ新たな措置方法を構築し、対処していく必要がある。また、施設の老朽化による保管管理の難しさ、収蔵スペースの不足など検討すべき課題もある。</p>
(2) 県民ニーズを踏まえた常設展示や魅力ある展覧会の開催	<p>【成果】12月月末まで実施した展覧会等全てで観覧者が1万人を超えるとともに、12月月末での総入館者数は4万人に達した。また、各部門が定期的に展示替えに行ったほか、期間限定で開催したトピック展も好評を博した。</p> <p>【課題】多種多様な県民のニーズに対し、各部門の研究成果をうまくマッチングさせ、それらを展示活動に反映させる。</p>
(3) 学校教育と博物館との連携強化など教育普及活動の充実	<p>【成果】12月月末現在、「県博出前講座」は、計10回、延べ443名であり、「学校学習利用」は、84件、3,058名であった。また、SNSを活用して効果的な情報発信をするため、運営のガイドラインを作成した。</p> <p>【課題】各学校等への学習支援の方法や博学連携の実態について、有効かつ効率的な情報提供を行い、利用の促進を図ること。また、過去の展覧会の完全なリストや内容紹介、刊行物のリストやPDF化などを図りたい。</p>

## 2 重点事業の状況 (2~3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
企画展及びテーマ展等の開催	①テーマ展「絵画でたどる19世紀岩手の風景」 ②企画展「遮光器土偶の世界」 ③テーマ展「中世の南部氏と糠部」 ④テーマ展「ひとのかたち～ひなまつりを迎える前に～」	3/18～5/7 (45日間) 6/3～8/20 (76日間) 9/23～11/26 (59日間) 1/8～2/12 (31日間)	14,506人 14,188人 10,576人 720人 (1/12現在)	観覧者の評価も高く充実した内容の展覧会が開催できた。今後も県民ニーズを踏まえた創意工夫された魅力ある展覧会の開催を目指したい。
第9回博物館まつり	①博物館をより身近に感じてもらい、様々な体験を通して、岩手の地勢や自然の豊かさ、先人の生活の知恵を体感してもらう ②9の体験コーナーや郷土芸能の公演、ストリートパフォーマンス	10/1	3,259人	当館の代表的なイベントとして定着しており、「身近な博物館」と感じてもらえる絶好の機会となっている。内容のさらなる充実と駐車場の確保が課題である。
被災文化財の再生作業	陸前高田市博物館等の被災文化財資料の再生作業	通年	7,394点 (平成29年12月末現在)	平成29年12月末までに約18万点を修復し、今後再生措置が必要な資料約24万6千点が保管されている。

## 平成30年度岩手県立博物館事業計画概要

## 事業計画概要(主なもの)

領域	事業名	実施内容	期日・期間	対象・人数		
展示	常設展示	展示替えの促進	通年	一般等		
	地域展	「未来への約束～気仙のたからもの～(仮)」(共通)	4/3～5/6	一般		
	第69回企画展	「魅力的な八本脚の生きもの・クモ(仮題)」(生物部門)	6/2～8/19	一般		
	テーマ展	「祈りにみる動物たち(仮題)」(民俗部門) 「岩手の往来(仮題)」(歴史部門)	9/22～11/25 3/16～5/6	一般		
	移動展	文化振興事業団事業所合同展	未定	一般		
教育普及	講演会 講習会 観察会	(1) 講演会 ア 文化講演会 イ 企画展特別講演会	11月3日 6月～8月 未定	一般 " "		
		(2) 文化財等取扱講習会	未定	"		
		(3) 観察会 ア 地質観察会(①・②未定) イ 自然観察会(①盛岡市・②田野畑村) ウ 県立博物館バックヤードツアー	① 7月・②10月 ①7月・②8月 5月	一般 " "		
		(4) 講座 ア 県博日曜講座 イ 古文書入門講座 ウ 考古学セミナー(講演会・現地見学会)	4月～3月(23回) 未定 6月～8月 通年	一般 " " "		
		(5) 県博出前講座	通年	学校		
		(6) 学校教育との連携事業 ア 教材用資料貸出 イ ミュージアムシアター ウ チャレンジ!はくぶつかん	4月～3月(12回) 4月～3月(49回)	児童生徒 "		
		(7) 体験教室 ア たいけん教室 イ 冬のワクワク!ワークショップ	4月～3月(51回) 冬季	児童生徒 "		
		(8) 学芸員資格取得希望者に対する博物館実習指導	8月	大学生		
		情報発信	出版・広報	(1) 年報(ホームページ掲載)	5月	一般
				(2) 博物館だより(年4回発行)	6、9、12、3月	"
				(3) 行事案内リーフレット(年2回発行)	8月、3月	"
				(4) 子ども向け教育普及事業案内(年1回発行)	5月	学校
				(5) 新聞広告等の各種広報活動、ホームページの運営	通年	一般
				(6) イベントガイド	毎月1回	"
		被災文化財再生	科学分析保存 処理受託事業	震災で被災した文化財の安定化処理及び修復作業の実施	通年	被災博物館
		自主事業	博物館まつり	博物館を身近に感じてもらい、リピータ化を促進するため、様々な体験教室や催し物を開催	10月	一般・児童生徒
			ナイトミュージアム	普段見ることができない夜の博物館の魅力を知ってもらう	8月	児童生徒～一般
ミュージアムコンサート	生涯学習を推進するうえで、音楽を通して多様な文化活動を提供し博物館活動を盛り上げる		未定	児童生徒～一般		



## 平成 29 年度主要施策の実施状況 (要旨)

公所名 岩手県立美術館

説明者 副館長 小平 浩

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題
(1) 県民の共通財産としての将来への継承	1) 収蔵コレクションによる常設展や他館等との連携による企画展を開催し、県民に国内外の優れた美術品の鑑賞機会を提供したほか、展示に関連付けた各種講座や体験教室等を通じて、芸術文化に対する理解と関心を高めることに寄与している。 2) 観覧者数は4年ぶりに目標を上回る好調な推移をたどっており、報道機関との実行委員会方式による事業運営が成果に結びついたものと判断される。引き続きノウハウの蓄積を図りながら、多様な規模・スタイルへの応用に努める必要がある。
(2) 調査・研究等の活動推進による本県評価の向上	1) 美術作品の収集選定や国内巡回展等の企画運営に当たり、全国各地の作家及び作品の調査等を精力的に行うとともに、関係美術機関等との連携活動を通じて、芸術文化振興の拠点となるべく幅広い学芸知識・技術の蓄積が進んでいる。 2) 自主企画展につながる研究の推進のほか、収蔵作品等の修復保存活動にも一層傾注し、県民の財産の価値向上に努める必要がある。
(3) 県民が等しく鑑賞・参加・創造できる環境の整備	1) 県民が当館の情報に効果的、容易にアクセスできるよう、各種媒体を活用した多面的な広報活動を展開し、美術館活動のきめ細かな周知に努めている。 2) リピーター確保や新たな来館者の開拓に向けて、ニーズ把握や情報発信の質と幅を拡充するとともに、魅力ある利用促進事業の企画に努める必要がある。

## 2 重点事業の状況

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
展示事業	○県ゆかりの作家等所蔵コレクション展示	第1~4期	4,881人	・計画どおり展示事業を開催し観覧者数は前年度比で約2倍の増加となり、最近数年間続いていた低迷状況を脱して回復基調に転じている。 ・報道機関との実行委員会方式が奏功しており、今後の定着と一層の充実が必要である。
	○多彩なテーマによる企画展開催			
	(1) 没後90年萬鐵五郎展	4/15- 6/18	5,338人	
	(2) 川端康成・東山魁夷コレクション展	7/1- 8/20	12,035人	
	(3) 花森安治の仕事展	9/2-10/15	15,073人	
	(4) エリック・カール展	10/28-12/10	33,909人	
	(5) 篠山紀信展	12/23- 2/18	3,042人	
(6) アートフェスタいわて2017	3/3- 3/25	開催予定		
教育普及活動事業	(1) ギャラリートーク、企画展関連講座	27回	1,703人	・概ね計画どおり実施し前年度並の実績で推移している。いずれの事業も高い満足度が得られ、県民の間に着実に浸透している様子が窺われる。 ・参加者等の新たなニーズの把握に努めるとともに、適宜内容の更新を図っていく必要がある。
	(2) コレクショントーク、常設展関連講座	20回	208人	
	(3) オープンスタジオ、アートデオヤコ等	11回	1,044人	
	(4) 教育プログラム(学生サポートスタッフ育成)	随時	34人	
	(5) 美術プログラム(館長講座、学芸員講座)	6回	223人	
	(6) あーとキャラバン(出前授業、ワークショップ)	4回	208人	
	(7) 教育連携(教員講習会・同研修会等)	4回	126人	
	(8) アートシネマ上映会	9回	805人	
	(9) 来館者対応(一般団体・学校団体等)	80団体	2,670人	
自主事業	○利用促進事業			・計画どおり実施し、実績も総じて高水準で推移している。 ・参加者の評価を定着させ、更に展覧会の観覧促進につなげる等の工夫が必要である。
	(1) 美術館まつり	1回	4,225人	
	(2) ミュージアムコンサート	3回	483人	
	(3) ナイトミュージアムコンサート	4回	763人	
	(4) ファミリータイム	9回	110人	

※参加状況は平成29年12月31日現在の実績値

## 平成30年度( 岩手県立美術館 ) 事業計画概要

## 事業計画概要

領域	事業名	実施内容	期日・期間	対象・人数
展示	展示事業(常設展)	美術館収蔵コレクションのテーマ展示	年4期	一般
	展示事業(企画展)	1 ユニマットコレクション ーフランス近代美術と珠玉のラリーク展 2 艶美の競演 東西の美しき女性 3 ブルーノ・ムナーリ展 4 うつわドラマティック展 5 ますむらひろし展 6 アートフェスタいわて2018	4/14 - 6/17 6/30 - 8/26 9/ 8 -11/ 4 11/14 -12/20 1/ 3 - 2/17 3/ 2 - 3/24	一般 一般 一般 一般 一般 一般
教育普及	教育普及活動事業	1 企画展関連 (1) ギャラリートーク (2) 関連講座 2 常設展関連 (1) コレクショントーク (2) 関連講座 3 美術普及 (1) スタジオプログラム 1) オープンスタジオ 2) アートデオヤコ (2) 教育プログラム 1) 学生サポートスタッフ受入れ・育成 (3) 美術プログラム 1) 館長講座 2) 学芸員講座 (4) 映像プログラム 1) アートシネマ上映会 2) アートスペース、デジタルビジョン等 4 教育連携 (1) 美術館出前授業 (2) 美術関連研修講師派遣 5 来館者対応 (1) 美術館探検(てくてくツアー) (2) 一般団体対応 (3) 学校団体対応(小中高大・支援学校)	月2回程度 年12回程度 月2回 年3回程度 年2回 月1回 随時 年4回 年2回程度 月1回 通年・随時 随時 随時 年6回 随時 随時	一般 一般 一般 一般 一般 未就学児と保護者 大学・専門学校生 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 児童・学生
その他	広報事業	1 印刷媒体・ウェブ媒体による情報発信 2 地域連携による情報発信 3 収蔵品基本データ整備	通年 通年 通年	
	美術品保存修復事業	1 美術作品収集 2 美術作品保存修復 3 虫菌害環境調査	随時 随時 随時	
	自主事業	1 美術館まつり 2 コンサート (1) ミュージアムコンサート (2) ナイトミュージアムコンサート 3 もりとびあねっと(施設連携事業) 参画	年2回 年4回程度 年4回程度 随時	一般 一般 一般

## 平成 29 年度主要施策の実施状況 (要旨)

公所名 岩手県立県南青少年の家

説明者 事務局長 野中 広治

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題								
1 主催事業、研修活動の充実	(1) 「自然体験の魅力や団体のニーズに応える場の提供」 ○事業の実施にあたり、事前踏査を行い、利用者が安全かつ満足感を得られるよう留意し事業展開を図った。参加者からは各事業とも概ね好評価を得ている。 (2) 「施設ボランティアの育成と活用による研修活動の充実」 ○施設ボランティアの小・中学生対象事業への協力により、事業内容が充実し、参加者の安全確保にも貢献できた。								
2 利用の促進	(1) 「関係教育機関等との連携による効果的な利用の促進」 ○児童・生徒の利用促進を図るため、小中学校や教育福祉専門学校と連携した事業を展開し、参加者からは概ね好評価を得ている。 ▲昨年度をやや上回ったものの依然利用者数は低迷しており、利用者ニーズを的確に把握し、研修プログラムの開発や効果的な広報活動の展開が必要である。 【利用者数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29 計画</th> <th>H29 実績 (12 月末)</th> <th>H28 実績 (12 月末)</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42,653 人</td> <td>30,815 人</td> <td>30,585 人</td> <td>100.7%</td> </tr> </tbody> </table>	H29 計画	H29 実績 (12 月末)	H28 実績 (12 月末)	前年比	42,653 人	30,815 人	30,585 人	100.7%
H29 計画	H29 実績 (12 月末)	H28 実績 (12 月末)	前年比						
42,653 人	30,815 人	30,585 人	100.7%						
3 環境の整備、充実 (安全の確保)	(1) 「施設・設備の点検強化と安全確保並びに計画的な改修等」 ○定期及び随時の施設点検を行い、こまめな修繕の実施や設備・用具等の利用指導による安全の確保と事故防止に努めた。防犯視点からの点検も併せて実施した。 ▲見回り、点検体制の更なる充実を図る必要がある。								

## 2 重点事業の状況 (2~3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果(○)・課題(▲)
「金ケ崎歴史探訪ウォークラリー」 ※新規事業	金ケ崎町の歴史と自然に触れながら、野外活動の楽しさを体験するとともに、参加者相互の交流を図る。 内容…金ケ崎町内の重要伝統的建造物群保存地区を巡るウォークラリー等	10月22日(日)	5家族 18名	○事業のねらい「金ケ崎の歴史と自然に触れながら、野外活動の楽しさを体験するとともに、参加者相互の交流を図る」について、概ね達成できたのではないかと考える。 ▲事業計画段階で実施日をしっかりと吟味していきたい。
3 施設連携事業 「親子 de チャレンジ」 (県南、陸中、県北青少年の家)	体験活動を通して親子のふれあいを高め、同行家族との親睦を深めるとともに、郷土のすばらしさを知る。 内容…親子で創作体験、平泉フォトアドベンチャーラリー等	9月30日(土) ～10月1日(日)	10家族 22名	○「平泉授業」をプログラムに取り入れ世界遺産「平泉」を身近に感じる機会となった。 ▲他の施設が遠方からの参加であり、低学年児童への負担が大きいのを感じた。
「宿泊通学合宿」	最寄りの小学校(金ケ崎町立永岡小学校)の希望する児童(4～6年生)を対象に、青少年の家に宿泊して学校に通学する事業。 日常の家庭生活とは切り離れた環境で、異なる学年同士での共同生活や体験活動・学習活動を行い、人と関わる力や集団生活のマナー、基本的な生活習慣の育成を図る。 内容…遊びリンピック、創作活動、科学実験	11月19日(日) ～23日(木)	27名	○「規則正しい生活」「ノーメディア」「自分のことは自分で」「仲間を大切に」の4つをめあてとして合宿に臨んだ。どの子どもそれらを意識しながら生活できた。 ▲概ね高評価であったが、マイナス評価も若干見られたので、事業の意義をふまえながら、改善できるところは改善するよう検討していく。

## 平成 29 年度主要施策の実施状況 (要旨)

公所名 岩手県立陸中海岸青少年の家

説明者 事務局長 野中 広治

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題								
1 主催事業・活動内容の充実	(1)「地域の復興に合わせた海を活用した活動の拡大」 ○今年度、山田町「浦の浜海水浴場」の再開を契機に、プログラムの中に海水浴等を組み入れ、より充実した事業展開を図ることができた。 (2)「地域団体等との連携と利用者ニーズを踏まえたプログラム企画」 ○地域の人材、関係団体と連携を図り、海に関する活動や登山・トレッキング事業等の充実を図ることができた。								
2 利用の促進	(1)「お客様管理によるリピータの確保と高齢者の利用拡大」 ○昨年度から開始した社会福祉協議会への PR が、今年度効果を発揮し始めた。高齢者でも利用できることが認知され、老人クラブや介護予防関係の団体など新規の利用につながった。 ▲閑散期平日の施設利用の一層の促進を工夫する必要がある。 ▲引き続き、高齢者の利用拡大に努めるとともに、新規領域である保育園児等の利用促進にも取り組んでいく必要がある。  【利用者数】								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H29 計画</th> <th>H29 実績 (12 月末)</th> <th>H28 実績 (12 月末)</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28,151 人</td> <td>26,513 人</td> <td>24,289 人</td> <td>109.2%</td> </tr> </tbody> </table>	H29 計画	H29 実績 (12 月末)	H28 実績 (12 月末)	前年比	28,151 人	26,513 人	24,289 人	109.2%
H29 計画	H29 実績 (12 月末)	H28 実績 (12 月末)	前年比						
28,151 人	26,513 人	24,289 人	109.2%						
3 環境の整備充実 (安全の確保)	(1)「施設・設備の点検強化と安全確保並びに計画的な改修等」 ○体育施設管理士資格者による点検・指導のほか自主点検を実施 (ダブルチェック体制の充実) した。防犯視点からの点検も併せて実施した。 ▲建物・設備の老朽化に伴い、引き続き計画的な改修・更新の実施、予算の確保が必要である。								

## 2 重点事業の状況 (2~3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
「海釣り道場」	・三陸の自然の中で、海釣りの醍醐味を味わい、参加者相互の交流を深める。 ・船釣り (経験者向け)、堤防釣り (初心者向け) 等	5月6日 (土) ~7日 (日)	46名	○今年度も夜釣りを取り入れたことで釣果があり、参加者に喜んでいただくことができた。参加の仕方もコースを4つに設定してみたところ、それぞれのコースとも参加者の満足度が高かった。
「ワンダフルネイチャー」 ①鯨山登山 (山田町) ③姉ヶ崎トレッキング (宮古市)	・登山を通して美しい三陸の海や山を味わう。(「潮風トレイル」のルートの一部を歩く。)	① 4月22日 (土) ③ 10月28日 (土)	① 62名 ③ 28名	○「潮風トレイル」の一部を歩くことができ、沿岸の立地を生かした事業となった。 ▲トイレ休憩ポイントやスタートからゴールまでの行程については、今後も重要なので事前踏査も含め、熟考して計画を立てて当事業にあたりたい。
「マリンランド陸中自然体験塾①海の子野外教室」	・自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にすることを育み、参加者相互の交流を図る。 ・海水浴、いかだ遊び、テント泊、ナイトハイク、沢登り等	8月2日 (水) ~4日 (金)	33名	○今年度は、地元山田町浦の浜海水浴場を使用することができ、活動的なプログラムで事業展開をすることができた。海水浴の時間帯にカニ釣りもできるような活動の選択肢を新たに増やしたことも良かった。

## 平成 29 年度主要施策の実施状況 (要旨)

公所名 岩手県立県北青少年の家

説明者 事務局長 野中 広治

## 1 総括的な成果と課題

項目	成果と課題															
1 主催事業・研修活動の充実	(1) 「親子参加事業の充実」 ○プラネタリウム鑑賞の日に、料理やスポーツ事業を組み合わせ実施し事業の充実化を図った。参加者からは、興味や都合により複数の体験ができるということで大変好評だった。 ▲事業内容は事前に決まっているが、参加する子どもの年齢層により、時間や内容の変更など臨機応変の工夫が必要である。															
2 利用促進	(1) 「親子での体験活動の機会の増加」 ○自然・創作・鑑賞・スポーツ・料理など様々な分野の体験ができるよう、また、時間も半日～1泊2日と参加者の都合に合わせて選択できるように、利用者の視点に立った企画をしたことにより、リピーターの方からも好評を得た。 ▲施設開放事業は、親子を始め様々な年齢層の方に体験の場を提供できるが、予算が限られているので内容や運営に工夫が必要である。 <table border="1" data-bbox="491 958 1347 1124"> <thead> <tr> <th>【利用者】</th> <th>H29 計画</th> <th>H29 実績 (12月末)</th> <th>H28 実績 (12月末)</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修利用</td> <td>30,721 人</td> <td>26,145 人</td> <td>23,402 人</td> <td>111.7%</td> </tr> <tr> <td>スケート場</td> <td>19,610 人</td> <td>8,111 人</td> <td>6,958 人</td> <td>116.5%</td> </tr> </tbody> </table>	【利用者】	H29 計画	H29 実績 (12月末)	H28 実績 (12月末)	前年比	研修利用	30,721 人	26,145 人	23,402 人	111.7%	スケート場	19,610 人	8,111 人	6,958 人	116.5%
【利用者】	H29 計画	H29 実績 (12月末)	H28 実績 (12月末)	前年比												
研修利用	30,721 人	26,145 人	23,402 人	111.7%												
スケート場	19,610 人	8,111 人	6,958 人	116.5%												
3 環境の整備・充実 (安全の確保)	(1) 「施設・設備の点検強化」 ○日常点検のほか、毎月の定期点検を通じて利用者の安全を確保できた。腐食が進んでいた第1当火場の木製ベンチを交換し、安全性を高めた。 ▲施設設備の老朽化に伴い、引き続き、安全点検の励行と計画的な修繕が必要である。															

## 2 重点事業の状況 (2～3)

事業名	趣旨・内容	期日・期間	参加状況	成果・課題
①ステラパ ル冬遊塾 *新規 ②ウィンタ ースクール	①小学3年生以上の仲間づくり・冬の体験活動 ②小学1・2年生の仲間づくり・冬の体験活動 (スキー・スケート・創作活動)	①1月9日(火) ～11日(木) ②2月3日(土) ～4日(日)	①53人 ②48人 (予定)	①について ○他施設と連携して活動をすることができた。 ▲活動の幅を広げるためにも、施設以外の場所の利用も検討する必要がある。
プラネタリ ウム鑑賞デ ー	季節の星座紹介など、プラネタリウム鑑賞を通して、天文や宇宙への興味を喚起する。他の事業との同日開催。	①7月2日(日) ②9月23日(土) ③12月17日 (日)	①65人 ②74人 ③78人	○星座紹介のほか、季節に合わせた内容を取り入れることで幅広い年代の方に楽しんでいただけた。 ▲繰り返し参加いただける内容の工夫が必要である。
ステラパ ル冬まつり	冬ならではの体験活動を通して青少年の家への理解と親しみを深め、参加者相互の交流を図る	2月18日(日)	未実施 *前年 度は369 人	*前年度初開催した事業の2回目。初回は季節に合わせた活動が好評だった。

No.	領域	事業名	実施内容	期日	対象・定員
1	主催	「集団宿泊指導研修会」	①「野外活動、創作活動、情報交換」等	5/8(火)	各回、利用団体関係者等 定員なし
			②「野外活動、創作活動、情報交換」等	5/9(水)	
2	主催	「アドバイザースタッフ養成講座」	野外活動、創作活動、ニュースポーツ、仲間づくりゲーム、事業紹介等	6/2(土)～3(日)	高校、専門学校生、大学生等 20人
3	主催	「自然ワンダークラブ」	①「Wonder①～出会い～」 ウォークラリー、野外炊事等	6/2(土)～3(日)	各回、小学校4年生以上～ 中学生まで 30人 (第1回目で年間登録制)
			②「Wonder②～挑戦～」 川遊び、創作活動等	8/25(土)～26(日)	
			③「Wonder③～深まり～」 登山、創作活動等	10/6(土)～7(日)	
			④「Wonder④～絆～」 雪遊び、スケート等	1/19(土)～20(日)	
4	主催	「かるがも親子体験教室」	①「親子de アウトドアクッキング」	7/7(土)	小・中学生の子どもをもつ 家族20家族(40人程度)
			②「キャンプdeチャレンジ」	8/18(土)～19(日)	小・中学生の子どもをもつ 家族20家族(40人程度)
5	主催	「水と緑のフレンドシップ」	キャンプ体験、野外炊事、川遊び、創作活動、キャンプファイア等	7/28(土)～8/1(水)	小学校5年生以上～中学生まで 30人
6	主催	「金ヶ崎歴史探訪ウォークラリー」	ウォークラリー、創作活動等	9/30(日)	子ども～一般まで 40人
7	主催	「宿泊通学合宿」	遊びりんピック、科学実験、創作活動等	11/18(日)～22(木)	小学校4年生～6年生まで 30人
8	主催	「親子 de 手作りクリスマス！」	①「親子でクリスマスキャンドル創作」	11/24(土) 午前	各回、小・中学生の子ども を持つ家族15家族(30人 程度)
			②「親子でクリスマスリース創作」	11/24(土) 午後	
			③「親子でクリスマスキャンドル創作」	12/8(土) 午前	
			④「親子でクリスマスリース創作」	12/8(土) 午後	
9	主催	「冬のおもしろ体験ランド」	「雪は友だち」スキー、スケート等	1/26(土)～1/27(日)	小学校4年生以上～中学生まで 30人
10	自主	「トレッキング」	春山トレッキング&温泉入浴	5/16(水)	各回 一般 20人
			ファミリートレッキング&温泉入浴	6/17(日)	
			秋山トレッキング&温泉入浴	10/10(水)	
11	自主	県南青少年の家所長杯「サッカーフェスティバル」	①サッカー競技	6/23(土)～24(日)	サッカースポーツ少年団 16チーム
			②サッカー競技	9/22(土)～23(日)	
12	自主	「みどりのキャンパス・ふれあいフェスティバル」	「ダッチオープン de ピザづくり体験」 創作活動、ニュースポーツ、作品展、食の祭典、児童画コンクール等。	9/2(日)	子ども～一般まで 定員なし
13	自主	「栗駒山トレッキング」	栗駒山トレッキング&温泉入浴	9/26(水)	一般 20人
14	自主	「親子deチャレンジ！」	親子で創作体験、スポーツ体験等	10/27(土)～28(日)	小・中学生の子どもを持つ 家族 7家族28人程度
15	自主	「レッツ!スケート」	①スケート講習会&自由滑走	1/19(土)	各回、小学生以上、家族、 一般 40人
			②スケート講習会&自由滑走	1/26(土)	

※「領域」の「主催」は、主催事業。「自主」は、自主事業のこと。

No.	領域	事業名	実施内容	期日	対象・定員
1	主催	自然体験活動セミナー	・火おこし体験・野外炊事・ウォークター ・テント設営・沢登りコース見学等	①4月26日(木)②5月10日(木)	当施設利用団体 担当教員
2	主催	海釣り道場	A:日帰り船釣りメインコース B:1泊2日船釣りメインコース C:日帰り堤防釣りメインコース D:1泊2日堤防釣りメインコース	5月5日(土)～6日(日)	小学生～一般 60名程度
3	主催	家族ふれあい塾	・そば打ち体験	5月12日(土)	10家族
4	主催	マリンランド陸中杯 グラウンド・ゴルフ交流会	グラウンド・ゴルフ交流会	① 5月24日(木) ② 9月 6日(木) ③10月 4日(木)	概ね 50 歳以上の方 各回100名程度
5	主催	アドバイザースタッフ セミナー	・いかに体験・ナイトハイク・沢登り ・火おこし体験・野外炊事など	7月21日(土)～22日(日)	高校・大学生・一般 15名程度
6	主催	マリンランド陸中自然体験塾 ①海の子野外教室 ②雪ん子野外教室	①海水浴・いかに遊び・テント設営・ナイトハイク・沢登り等 ②スキー、スケート、雪遊び等	①8月1日(水)～ 3日(金) ②1月9日(水)～11日(金)	①②とも小学5・6年生 各回30名程度
7	主催	季節の味わい ～和菓子作り～	季節の和菓子作り	2月2日(土) ① 9:30～ ②13:00～	小学生～一般 各回30名程度
8	主催	ハートフルキャラバン	・創作活動(プラ板・森の贈り物・マリン キャンドル等) ・ニュースポーツ(輪投げ・ニテレク ボール・スカイクロス等)	通年	不登校及びひきこもり 傾向にある児童・生徒 定員なし(保護者同伴可)
9	主催	やまびこキャラバン	・創作(プラ板・森の贈り物他) ・ニュースポーツ (シャフルボード・キンボール他) ・もちつき体験	通年	子ども～大人 概ね 10 名以上
10	自主	ワンダフルネイチャー ①鯨山登山(山田町) ②鯨ヶ崎灯台トレッキング (宮古市) ③月山トレッキング(宮古市)	①鯨山登山 ②鯨ヶ崎灯台トレッキング ③月山トレッキング	① 4月21日(土) ②10月21日(日)※予備日無し ③11月10日(土)	小学生～一般 各回 30 名程度
11	自主	親子でエンジョイ 海1 day 《新規事業》	・海水浴・スイカ割り ・いかに遊び・カニ釣り ・砂遊びなど	8月5日(日)	小学校低学年の子どもを 持つ親子 7家族28名程度
12	自主	マリンランド陸中フェスタ 「感謝まつり」	・ミニ発表会・創作・ニュースポーツ体験 ・火おこし体験・もちつき体験など	9月23日(日)	定員なし
13	自主	3施設連携事業 「親子 de チャレンジ！」	・プラネタリウム・スケート体験 ・夕食交流会・カーリング体験 ・わんこそば体験など	10月27日(土)～28日(日)	小・中学生の子どもを 持つ家族 7家族28名程度
14	自主	創作ひろば～アイデアとアレ ンジで Xmas&お正月飾り～	・クリスマス飾り・お正月飾り	①12月1日(土) ②12月8日(土)	幼児・小学生～一般 ①②とも 30名程度
15	自主	第40回陸中海岸 剣道スポーツ少年団交歓会	剣道交流試合	2月9日(土)～10日(日)	宮古・山田・大槌・釜石の 剣道スポーツ少年団 150名程度
16	自主	第16回マリンランド陸中 フットサル交流会	フットサル交流試合	2月23日(土)・24日(日)	沿岸地区のサッカー スポーツ少年団 14チーム程度
17	自主	第12回マリンランド陸中 ミニバスケットボール交流会	ミニバスケットボール 交流試合	3月2日(土)・3日(日)	山田町および近隣市町 村のミニバスケットボール スポーツ少年団の 新人20チーム程度

※「領域」の「主催」は、主催事業。「自主」は、自主事業のこと。

No.	領域	事業名	実施内容	期日	対象・定員
1	主催	野外活動セミナー	施設利用説明、館内外見学、野外炊事体験、野外活動説明・体験、プログラム相談	5月9日(水)	50人 利用予定団体の担当者等
2	主催	ジュニアフォレスト大作戦	森林学習、自然体験、創作活動、野外炊事等	①6月2日(土)～3日(日) ②9月8日(土)～9日(日) ③1月26日(土)～27日(日)	【年間登録制】 40人程度 小学校4～6年生
3	主催	プラネタリウム鑑賞デー	季節の星座紹介 ①七夕のお話 ②お月さまのお話 ③クリスマスのお話	①7月7日(土) ②9月22日(土) ③12月9日(日)	1日3回投影 各回50人程度
4	主催	わんぱく広場	魚つかみ、魚さばき、魚焼き、昼食、片付け	7月7日(土)	60人程度
5	主催	サマーにこここキャンプ	室内テント泊、森の探検、野外炊事、プラネタリウム鑑賞、星空観察、創作活動	7月14日(土)～15日(日)	60人 小学校1～2年生
6	主催	サマーチャレンジキャンプ	仲間づくり、ツリークライミング、野外炊事、テント泊、キャンプファイヤー、海遊び、スポーツ体験、登山、創作体験	7月31日(火)～8月3日(金) 【3泊4日】	30人程度 小学校4～6年生、中学生
7	主催	レッツ折爪トレッキング(折爪岳)	折爪岳のトレッキング	8月11日(土)	40人
8	主催	親子でアウトドアクッキング	仲間作り、クッキング、昼食、片付け	9月22日(土)	親子20組、60人
9	主催	宿泊トレッキング	トレッキング交流会	10月6日(土)～7日(日)	40名
10	主催	スケート実技セミナー	スケート実技研修、スケート場利用について、プログラム相談	10月26日(金)	定員なし 利用希望団体等の担当者
11	主催	スケート場感謝デー	スケート自由滑走、スケート教室、カーリング体験、アイスホッケー体験、フィギュアデモンストレーション	11月3日(土)	定員設定なし
12	主催	だれでもスケート教室	初心者・初級者対象のスケート教室	①11月11日(日) ②11月23日(金)	①・②とも60人程度
13	主催	だれでもカーリング教室	カーリング教室、ミニゲーム	12月9日(日)	50人程度
14	主催	ステラパル冬遊塾	スケート体験、カーリング体験、そり遊び、雪遊び	1月8日(火)～10日(木)	40人程度 小学校3～6年生
15	主催	ウィンタースクール	仲間づくり、雪遊び、スケート体験、調理体験、星空観察、雪灯り	2月9日(土)～10日(日)	40人程度 小学校1～2年生
16	自主	ステラパル春まつり	施設見学、創作体験、ニュースポーツ体験、茶道体験、プラネタリウム鑑賞、ステージ発表	5月13日(日)	定員なし
17	自主	いきいきグラウンド・ゴルフ大会	グラウンド・ゴルフ大会、昼食交流会	①5月24日(木) ②9月13日(木)	①・②とも定員100名 二戸・久慈地区のグラウンド・ゴルフ愛好者
18	自主	親子deチャレンジ!	スケート体験、カーリング体験、プラネタリウム鑑賞、星空観察、夕食交流会	10月27日(土)～28日(日)	6家族24人程度 (小学生の子どもをもつ家族)
19	自主	ステラパル冬まつり	施設見学、創作体験、スポーツ体験、雪遊び体験、プラネタリウム鑑賞	2月17日(日)	定員なし

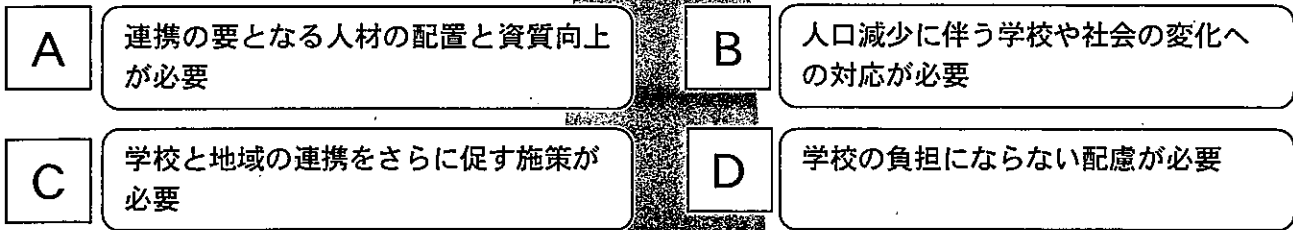
※「領域」の「主催」は、主催事業。「自主」は、自主事業のこと。



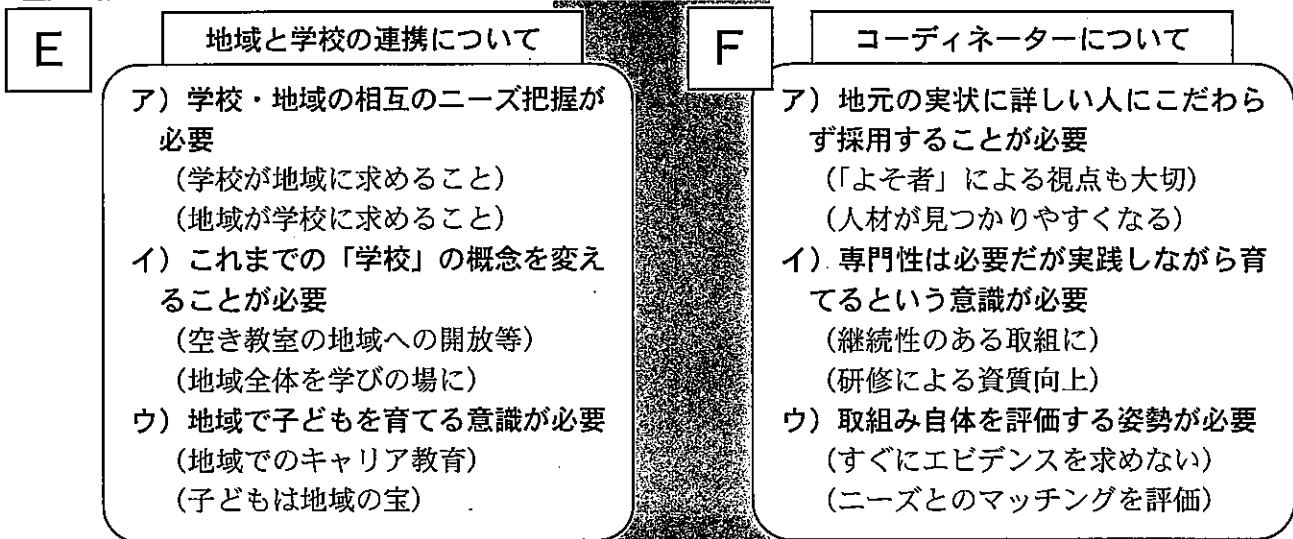
協議（2）今後の重点施策について

『学校を核とした地域創生 ～学校と地域の連携・協働の在り方と推進方策について～』

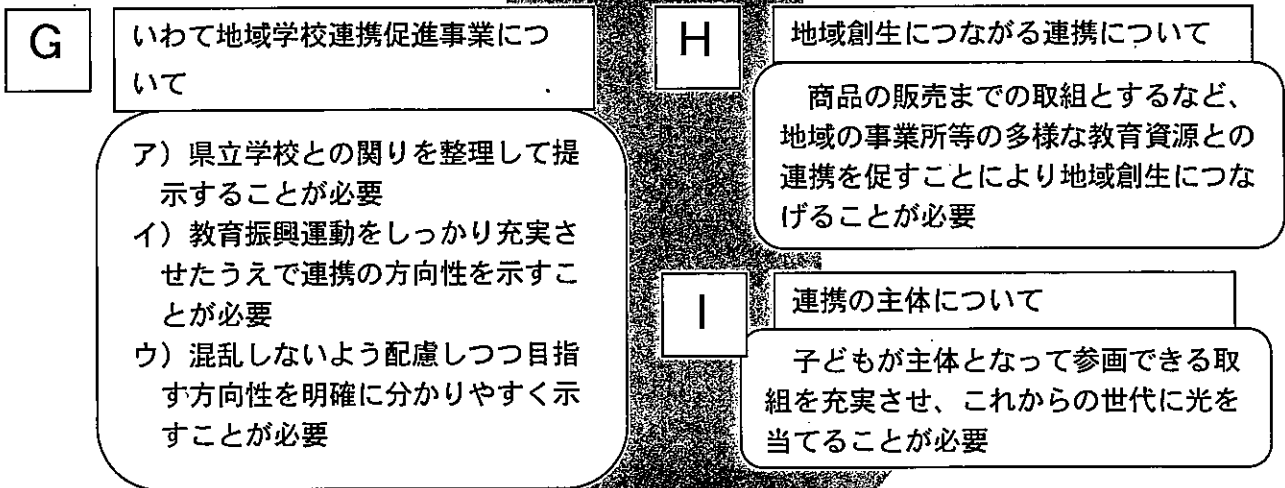
1 H28 第1回会議の協議で出された視点



2 H28 第2回会議の協議で出された視点



3 H29 第1回会議の協議で出された視点



4 H29 第2回会議で協議したい視点



論点の整理



平成30年度社会教育関係団体活動費補助金交付団体

総括団体	社会教育関係団体名	設立年月日	補助金 開始年度	代表者名	団体・会員数	主な補助 事業内容
	岩手県社会教育関係団体連絡協議会	H9.4.1	H9	平井ふみ子	10 団体 162,697 人	*下記10団体を総括する。
1	岩手県青年団体協議会	S26.3.29	S37	松田恵美子	10市町村 11 団体 413 人	・岩手県青年大会(体育部門、文化部門) ・青年問題研究集会 ・活動家研修会
2	日本ボーンイスカウト岩手連盟	S24.7.9	S36	末永正志	8市町村 11 団体 377 人	・カブ・ビーバーラリー ・クッキングキャンプラリー ・技能オリンピック等
3	ガールスカウト岩手県連盟	S45.3.1	S46	平井ふみ子	11市町村 11 団体 225 人	・広報活動 ・少女の心身発達に寄与する事業 ・指導者の養成
4	特定非営利活動法人 岩手県地域婦人団体協議会	S28.1.10	S38	瀬川愛子	25市町村 34 団体 6,960 人	・リーダー研修会 ・地域婦人大会 ・健康づくり活動
5	岩手県国立幼稚園・ こども園PTA連絡協議会	S50.7.10	S63	鈴木伸司	12市町村 45 団体 1,763 人	・県幼P連総会・研究大会 ・ブロック研修会 ・会報発行
6	(一社)岩手県PTA連合会	S26.8.1	S45	五十嵐のぶ代	33市町村 33 団体 84,948 人	・三行詩・広報コンクール ・家庭教育セミナー ・広報活動等
7	岩手県高等学校PTA連合会	S26.8.3	S45	渡辺正和	30市町村 80 団体 28,147 人	・総会・研究協議会 ・会報発行 ・母親会員交流会等
8	岩手県社会教育連絡協議会	S42.4.1	S42	大橋清司	33市町村 34 団体 1,677 人	・公民館大会 ・機関紙の発行 ・社会教育主事・公民館職員等研修会
9	岩手県ユネスコ協会連盟	S28.3.15	S44	三田地宣子	14市町村 51 団体 1,422 人	・ユネスコ活動顕彰事業 ・ESDセミナー ・ユネスコ運動岩手県大会
10	岩手県子ども会育成連合会	S50.5.20	S50	三浦保治	13市町村 13 団体 36,765 人	・子ども会活動活性化事業 ・ブロック別研修会 ・子育て連だより発行

※平成29年5月現在

